

北海道議会時報

第33巻第5号

昭和56年第2回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第33巻第5号(昭和56年第2回定例会)

(表紙写真)

牛 の 放 牧 風 景

北海道議会時報第33巻第5号(昭和56年第2回定例会)

議長 松浦 義信



ただいまの選挙におきまして、皆様の御推挙により議長の重責を担うことになりましたことは、私にとりまして身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感いたしておる次第でございます。

ここに謹んでお受けいたします。

今後は、当面する道政上の諸問題に適切に対処いたしますとともに、公正な議会運営に全力を傾注し、道民生活の安定向上のために職責を全ういたす決意でございます。

皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。簡単ではございますが、ごあいさついたします。

就任のあいさつ（6月26日の本会議において）

副議長 笠島 保

ただいまの選挙におきまして、皆様の御推挙により副議長の重責を担うこととなりましたことは、この上ない光栄であります。

ここに謹んでお受けいたします。

今後は、議長とともに道政の進展と議会の円滑な運営のため最善の努力を傾注し、職責を全ういたす所存でありますので、皆様の格別なる御協力を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。





伊藤知則議員逝去

議員伊藤知則氏(自民、札幌市白石区選出)は、6月24日午前5時55分、直腸癌のため、札幌医科大学附属病院において逝去され、6月27日、札幌霊堂において告別式が執り行われた。行年51歳。

なお、7月1日、第2回定例会本会議において、池島信吉議員(社会、札幌市白石区選出)から追悼演説が行われ、ついで、全員起立のうえ、黙禱が捧げられた。

追 悼 演 説

私は、いまこの本会議場において、伊藤知則君のための追悼の言葉を述べようとは夢にも思っておりませんでした。

この壇上に立っておりますと、いまにもそのドアをあけて、あの元気なお姿を見せるのではないかという錯覚さえ覚えます。ここにおられる各議員の皆さんも、知事を初めとする道の幹部の方々も、皆同じ思いでおられると思います。

人生のはかなさといひましようか、深い悲しみが私の胸を締めつけているのであります。あなたの議席には花が飾られており、正面の階上には御遺族の皆様も見えておられます。改めて深い悲しみに襲われます。

ここに謹んで哀悼の言葉を申し述べたいと存じます。

あなたは、政治家としてはまさにこれからという51歳の若さで短い生涯を終えられました。しかも、中央政界を目指し着々と準備を進められ、大きく前進しようとしたやさき、雄図むなく志半ばにして倒れられたあなたの心情を思うとき、そしてまた、日本の政治が80年代の新しい時代を迎えようとしているときだけに、若いあなたの突然の死は、惜しみても余りある痛恨事であります。

伊藤知則君、いま、ありし日のあなたの幾つもの思い出が私の胸を去来しております。同じ選挙区であるあなたとは、町内会の会合、老人クラブや婦人会の会合など、肩を並べては出席したものです。その中であなたは、力強く道政について語られるとともに、いつも地域の方々が和の精神を持って協力し合い、地域の発展を期すべきことをじゅんじゅんと説いておられました。そして、必ず野党の私どもの立場についても触れることを忘れないあいさつをされておりました。まさにあなたの人間性と幅の広い政治家としてのあなたの資質を示したものであります。

あなたのお通夜と告別式には、会場に入れ切れないで、たくさんの方々が入口で香をささげて、あなたとのお別れをしておられました。いかに多くの方々があなたを敬愛し、あなたの政治力に期待していたか、はかり知れないものがあります。返す返すも残念でなりません。

伊藤知則君、あなたは、昭和4年、札幌郡白石村において作一さんの長男として生まれ、札幌市立中学校を卒業の後、早くから実業界に飛び込まれ、20歳という若さで東札幌石炭株式会社を設立するとともに、その後、多くの商事会社、タクシー会社、ゴルフ場、観光物産興社などを次々と設立され、その代表取締役となり、札幌における実業界のヤングパワーとして活躍されたのであります。

さらに、真駒内商業協同組合理事長を初めとし、数々の商業団体の役員を歴任される傍ら、北海道クレー協会長のほか、各種スポーツ連盟の会長を務めるなど、重要な役職を歴任され、地域経済の発展はもとより、幅広く教育、文化、スポーツの振興に大きく貢献されたのであります。

実業家として活躍される中にあって、道議会議員を4期務められたお父上のもとで政治的素養を身につけられ、昭和46年には地域の衆望を担い、お父上の跡を継いで道議会議員に当選され、以来今日までの10年問道政に参画され、道政進展のため努力を重ねられたのであります。

温厚な風格の中にも毅然たる政治信念を持ち、長年経済界で培われた豊富な識見と実行力に加え、非凡な政治手腕は高く評価され、商工労働委員、建設委員、予算特別委員会分科委員長、議会運営委員会理事として議会活動に才腕をふるわれたのであります。

さらに、54年に3回目の道議当選を果たされてからは、道議会にあっては総務委員長の要職につかれるとともに、石狩湾新港管理組合議会議長に就任され、持ち前の行動力を発揮されて、道政発展のため、地域産業振興のため、献身的に活躍をされたのであります。

また、自由民主党にありましては、白石区連合支部長、道連総務会副会長の要職につかれ、明哲な人間性と卓越した指導力をもって党務の発展に挺身されたことは、私どもひとしく敬服してやまないところであります。

今回、従六位、勲五等瑞宝章を受章されましたことも、これまでのあなたの偉大な功績のゆえにほかなりません。

地方の時代と言われる80年代を迎え、いま本道は数多くの重要な課題を抱えているこの時期に、果敢な実行力に富んだあなたの活躍が期待されているにもかかわらず、あなたを失ったことは、御家族の皆様の悲嘆はもとより、道政上はかり知れない損失であり、まことに痛惜にたえないところであります。衷心から哀悼の至情をささげるものであります。

ここに北海道議회를代表いたしまして、謹んで伊藤知則君の御功績をたたえ、心から御冥福をお祈りし、追悼の言葉といたします。

第2回定例会

概	要	1		
本	會	議	3	
提	出	案	件	16
意	見	案	20	
請	願・陳	情	26	

委員会 の 動 き

議会運営委員会	30
常任委員会	38
特別委員会	47
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	58
-------------	----

資 料

第2回定例会において議決を経た条例 の公布調	59
議会運営及び各常任・特別委員会委員 名簿	60

7月のメモ

議 会 日 誌

▶ 6 月

26日（金） **（第2回定例会開会）**
議会運営、総務各委員会
本会議（会期決定＜20日間＞、正副議長の辞職及び選挙、提案説明、副知事定数特例廃止条例案可決、副知事選任同意、静和園廃止条例案可決、意見案1件可決）

▶ 7 月

1日（水） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会
本会議（議席の一部変更、常任・特別・議会運営各委員選任、苫小牧港管理組合議会議員の選挙）
2日（木） 議会運営委員会
本会議（意見案2件可決、代表質問2人）
3日（金） 議会運営委員会
本会議（代表質問）
4日（土） 議会運営、総務各委員会
本会議（代表質問）
7日（火） 議会運営委員会
本会議（追加提案説明、代表質問2人、一般質問2人）
8日（水） 議会運営委員会
本会議（一般質問2人）
9日（木） 議会運営委員会
本会議（一般質問3人）
10日（金） 議会運営委員会
本会議（一般質問3人）

11日（土） 議会運営委員会

本会議（大雨災害報告、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙、一般質問3人、予算及び企業会計決算各特別委員会設置）

予算・企業会計決算各特別委員会（正副委員長の互選、予算第1・第2各分科会設置）予算第1・第2各分科会（正副委員長の互選）

13日（月） } 予算第1・第2各分科会（各部所管
14日（火） } 審査）

15日（水） 議会運営委員会、予算第1・第2各分科会（各部所管審査）

本会議（請願・陳情審査、会期延長）

16日（木） 議会運営、各常任、公害対策特別、企業会計決算特別、決算特別各委員会、予算第1・第2各分科会（各部所管審査）、予算特別委員会（総括質疑、意見調整）

本会議（各委員長報告、議案等可決、追加提案説明、公安委員会委員及び監査委員選任同意、意見案8件可決、請願・陳情審査）

（第2回定例会開会）

17日（金） 各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会

27日（月） }
28日（火） } 決算特別委員会
31日（金） }

第2回定例会

議長に松浦 義信氏、副議長に笠島 保氏

▶非核3原則の堅持等に関する要望意見案可決◀

概要

- ① 昭和56年度補正予算等を審議する第2回定例会は、6月30日招集され、会期を7月15日までの20日間と決定の後、西尾六七議長の辞職を許可し、直ちに議長の選挙を行い、投票による選挙の結果、松浦義信議員を議長に選出。ついで、原清重副議長の辞職を許可し、副議長の選挙を行い、投票による選挙の結果、笠島保議員を副議長に選出。ついで、総額9,600万円余の昭和56年度補正予算等の議案等が上程され、知事から提案説明。次に、副知事定数特例条例の廃止条例案について、総務委員長報告を副委員長から報告の後、討論があり、採決の結果、委員長報告のとおり原案可決。ついで、副知事選任案件について、採決の結果、原案のとおり同意議決。次に、前会より継続審査の道立静和園条例の廃止条例案並びにこれに関連する請願について、討論、採決の結果、委員長報告のとおり原案可決または委員会決定のとおり不採択と決定。次に、適正炭価に関する要望意見案を可決して、議案調査のため翌27日から30日まで4日間休会した。
- ② 休会明けの7月1日は、議席の一部変更を行い、6月24日逝去された伊藤知則議員に対する追悼演説及び黙とうを行った後、8常任委員会、4特別委員会及び議会運営委員会委員の選任並びに苫小牧港管理組合議会議員の選挙をいずれも議長指名により行った。ついで、7月2日には、砂糖の価格安定等に関する要望意見案ほか1件の意見案を可決して、代表質問に入り、議案調査のため6日は休会した。ついで、7日に代表質問を終え、一般質問に入り、11日には、知事から日高地方を中心とした大雨災害に関する報告の後、石狩湾新港管理組合議会議員及び石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙を行い、同日、一般質問を終結して、31人からなる予算特別委員会及び19人からなる企業会計決算特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行い、各委員会付託議案審査のため、13日から14日までの2日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、7月11日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、13日から昭和56年度一般会計補正予算に対する各部所管審査に入り、16日に各分科会における質疑を終結し、同日、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、直ちに意見調整に入り、原案可決と決定。
- ④ 本会議再開日の15日は、請願・陳情審査の件について、委員会決定のとおり12件を採択と決定の後、会期を7月16日まで1日間延長することにした。
- ⑤ 会期最終日の16日は、昭和56年度一般会計補正予算に対する予算特別委員長報告及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論に入り、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり原案可決または承認議決。ついで、北海道公安委員会委員の選任同意案件等の人事案件等について、討論、採決の結果、いずれも原案のとおり同意議決または原案可決。ついで、道路整備特定財源の確保に関する要望意見案ほか1件の意見案について、討論、採決の結果、原案のとおり可決の後、非核3原則の堅持等に関する要望意見案ほか5件の意見案を可決し、請願審査の件について、委員会決定のとおり3件を採択と決定。ついで、報告第49号ないし第55号（昭和55年度企業会計決算）及び前会より継続審査中の報告第2号（昭和54年度各会計歳入歳出決算）の閉会中継続審査並びに閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、報告第49号ないし第55号及び前会よ

り継続審査中の報告第2号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来21日目の7月16日午後7時59分閉会した。

⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況					計
		原案可決	同意議決	承認議決	継続審査	報告のみ	
知 事	86	28(1)	3	24	7(1)	24	86(2)
議 員	11	11	0	0	0	0	11
計	97	39(1)	3	24	7(1)	24	97(2)

注 かつこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

本 会 議

○ 6 月 26 日（金） 午前 10 時 38 分開議、西尾六七議長、昭和 56 年第 2 回定例会の開会を宣し、引き続き、

日程第 1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告（正・副議長の 6 月 25 日付け辞職願いの提出、陳情第 10 号の取下げの申し出並びに委員会付託の取消しなど）の後、議長から、元道議会議員田中巖氏の逝去（5 月 31 日）について弔意を表した旨並びに伊藤知則議員の逝去（6 月 24 日）について弔意を表した旨報告があり、7 月 1 日の本会議において故伊藤知則議員に対する追悼演説を行うこととした。次に、

日程第 2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から 7 月 15 日までの 20 日間と決定。次に、

日程第 3 議長辞職の件を議題とし、異議なく西尾六七氏（自民）の議長の辞職を許可することに決定。ついで、

日程第 4 議長の選挙に入り、議場の出入口を閉鎖の後、立会人に石山直行議員（自民）、保格博夫議員（社会）、橋浪蔵議員（道政）、工藤啓二議員（公明）を指名。点呼に応じ、単記無記名により投票を行い、開票の結果、投票総数 100 票（出席議員数と同数）、有効投票 100 票、有効投票中、松浦義信議員（自民）99 票、三上勇議員（自民）1 票で、松浦義信議員が議長に当選。議場の出入口を開鎖し、議長の就任あいさつ。次に、

日程第 5 副議長辞職の件を議題とし、異議なく原清重氏（社会）の副議長の辞職を許可することに決定。ついで、

日程第 6 副議長の選挙に入り、選挙は議長選挙と同様の方法で行い、開票の結果、投票総数 100 票、有効投票 99 票、白票 1 票、有効投票中、笠島保議員（社会）97 票、原清重議員（社会）1 票、山家勇議員（社会）1 票で、笠島保議員が副議長に当選。議場の出入口を開鎖し、副議長の就任あいさつ。次に、

日程第 7 議案第 1 号ないし第 27 号及び報告第 1 号ないし第 24 号を議題とし、知事から、道職員の不祥事に関する遺憾の意の表明並びに提

出案件に関する説明。ついで、日程第 7 のうち議案第 11 号について先議することとし、直ちに総務委員会に付託。議事進行の都合により午前 11 時 51 分休憩、午後 2 時 35 分再開。諸般の報告の後、

追加日程 議案第 11 号を議題とし、舟山広治総務副委員長（社会）から委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、小田原要四蔵議員（社会）から議案第 11 号に関する反対討論があって、討論終結。ついで、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（社会、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。議事進行の都合により午後 2 時 42 分休憩、午後 4 時 20 分再開。諸般の報告の後、

追加日程 議案第 28 号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（社会、共産、無所属反対）をもって原案のとおり同意議決。次に、

日程第 8 前会より継続審査の議案第 41 号並びに

日程第 9 請願第 45 号及び第 52 号を一括議題とし、日程第 9 の請願第 45 号及び第 52 号に関する委員長報告を省略の上、宇野真平厚生委員長（自民）から日程第 8 の前会より継続審査の議案第 41 号について、委員会における審査の経過と結果を報告の後、討論に入り、舟山広治議員（社会）から前会より継続審査の議案第 41 号並びに請願第 45 号及び第 52 号の審査結果の不採択に関する反対討論、高橋康之議員（自民）から前会より継続審査の議案第 41 号並びに請願第 45 号及び第 52 号の審査結果の不採択に関する賛成討論があって討論終結。ついで、採決に入り、まず、日程第 8 の前会より継続審査の議案第 41 号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。ついで、日程第 9 の請願第 45 号及び第 52 号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産、無所属反対）をもって委員会決定のとおりいずれも不採択と決定。次に、

日程第 10 意見案第 1 号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

ついで、議案調査のため6月27日から6月30日までの4日間休会、7月1日再開することに決定して、午後4時37分散会。

○7月1日(水) 午前10時10分開議、諸般の報告(総合開発調査、石炭対策、北方領土対策及び公害対策各特別委員の辞任許可など)の後、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、異議なく配付の議席表のとおり変更することに決定。ついで、池島信吉議員(社会)から、故伊藤知則議員(自民)に対する追悼演説の後、全員起立の上、黙とうを行った。次に、

日程第2 常任委員選任の件を議題とし、議長指名(配付の名簿のとおり)により、次の委員を選任。

○総務委員(14人、欠員1人)

樫林 巖(社会)	木本 由孝(自民)
橋 浪蔵(道政)	中川 義雄(自民)
青山 正男(自民)	岩崎 守男(社会)
中崎 昭一(自民)	宇野 真平(自民)
保格 博夫(社会)	高橋 鉦(公明)
山家 勇(社会)	藤井 猛(自民)
高橋 賢一(自民)	

○厚生委員(13人)

伊藤 弘(自民)	関根 建二(社会)
伊藤 武一(公明)	川崎 守(共産)
石山 直行(自民)	高木 繁光(自民)
寺崎 政朝(自民)	高田 忠雄(道政)
小沢 栄吉(自民)	舟山 広治(社会)
湯本 芳志(社会)	水沼徳一郎(自民)
東 典俊(自民)	

○商工労働委員(13人)

小田原要四蔵(社会)	高橋 康之(自民)
久田 恭弘(自民)	柳谷 正一(公明)
輪島 幸雄(社会)	浅川 正敏(自民)
岩田 徳弥(自民)	湯田 倉治(道政)
藤井 虎雄(社会)	塚本 肇(社会)
吉田 政一(自民)	三上 勇(自民)
佐藤 幹夫(自民)	

○農務委員(13人)

神本 三也(社会)	青山 章(自民)
吉野 之雄(社会)	工藤 啓二(公明)
岡本栄太郎(社会)	渋谷 澄夫(社会)
宇川 源吉(自民)	川口 常人(自民)

石川十四夫(道政)	村上 彝明(自民)
若狭 靖(自民)	高橋正四郎(自民)
田刈子政太郎(自民)	

○建設委員(13人)

浅野 俊一(公明)	勝木 省三(道政)
中川 隆之(道政)	水岡 薫(自民)
萩上 元春(社会)	野村 権作(自民)
古川 靖晃(自民)	和田 勝之(自民)
笹浪 幸男(自民)	鈴木 誠二(社会)
星野 健三(社会)	西尾 六七(自民)
杉本 栄一(自民)	

○農地開発委員(13人)

佐々木行雄(自民)	木下 一見(道政)
土屋 良三(自民)	青木 延男(社会)
佐藤 静雄(自民)	伊藤 豪(道政)
米田 忠雄(自民)	大平 秀雄(自民)
池島 信吉(社会)	影山 豊(無所属)
笠島 保(社会)	作田 政次(自民)
松浦 義信(自民)	

○水産委員(13人、欠員1人)

桜井 外治(自民)	小田部善治(道政)
松本 勇(自民)	長岡 寅雄(社会)
石崎喜太郎(自民)	新沼 浩(自民)
武部 勤(自民)	砂原 清治(社会)
原 清重(社会)	阿部恵三男(自民)
滝沢 勉(自民)	佐々木 豊(自民)

○文教林務委員(13人)

山口 真人(自民)	吉川 貴盛(自民)
米村 邦敏(社会)	佐々木利昭(自民)
小野 秀夫(道政)	平野 明彦(自民)
小笠原 孝(自民)	工藤万砂美(自民)
吉田 英治(社会)	熊谷 克治(社会)
中田 繁夫(社会)	本間喜代人(共産)
宮本 義勝(自民)	

次に、

日程第3 特別委員選任の件を議題とし、議長指名(配付の名簿のとおり)により、次の委員を選任。

○総合開発調査特別委員(27人)

樫林 巖(社会)	神本 三也(社会)
木本 由孝(自民)	高橋 康之(自民)
小田部善治(道政)	中川 隆之(道政)
松本 勇(自民)	吉川 貴盛(自民)
萩上 元春(社会)	川崎 守(共産)

渋谷 澄夫（社会）	岩田 徳弥（自民）
川口 常人（自民）	寺崎 政朝（自民）
中崎 昭一（自民）	小野 秀夫（道政）
古川 靖晃（自民）	小笠原 孝（自民）
武部 勤（自民）	鈴木 誠二（社会）
吉田 英治（社会）	熊谷 克治（社会）
高橋 鉦（公明）	吉田 政一（自民）
東 典俊（自民）	阿部恵三男（自民）
佐藤 幹夫（自民）	

○石炭対策特別委員（15人）

佐々木行雄（自民）	土屋 良三（自民）
中川 義雄（自民）	長岡 寅雄（社会）
伊藤 武一（公明）	岩崎 守男（社会）
石山 直行（自民）	宇川 源吉（自民）
石川十四夫（道政）	湯田 倉治（道政）
工藤万砂美（自民）	藤井 虎雄（社会）
山家 勇（社会）	藤井 猛（自民）
高橋正四郎（自民）	

○北方領土対策特別委員（13人）

小田原要四蔵（社会）	青山 章（自民）
桜井 外治（自民）	水岡 薫（自民）
工藤 啓二（公明）	米村 邦敏（社会）
佐々木利昭（自民）	高田 忠雄（道政）
野村 權作（自民）	小沢 栄吉（自民）
湯本 芳志（社会）	原 清重（社会）
水沼徳一郎（自民）	

○公害対策特別委員（17人）

伊藤 弘（自民）	勝木 省三（道政）
橋 浪蔵（道政）	久田 恭弘（自民）
山口 真人（自民）	青山 正男（自民）
関根 建二（社会）	吉野 之雄（社会）
柳谷 正一（公明）	輪島 幸雄（社会）
岡本栄太郎（社会）	佐藤 静雄（自民）
高木 繁光（自民）	新沼 浩（自民）
星野 健三（社会）	若狭 靖（自民）
田莉子政太郎（自民）	

次に、議会運営委員について、議長から配付の名簿により次のとおり指名。

○議会運営委員（13人）

小田原要四蔵（社会）	高橋 康之（自民）
木下 一見（道政）	水岡 薫（自民）
吉川 貴盛（自民）	関根 建二（社会）
工藤 啓二（公明）	岩崎 守男（社会）
渋谷 澄夫（社会）	中崎 昭一（自民）

平野 明彦（自民）	和田 勝之（自民）
水沼徳一郎（自民）	

次に、

日程第4 苫小牧港管理組合議会議員の選挙
に入り、指名推選の方法をもって議長指名により、次の議員を当選人と決定して、午前11時6分散会。

高橋 康之（自民）	橋 浪蔵（道政）
山家 勇（社会）	宮本 義勝（自民）
杉本 栄一（自民）	

○7月2日（木） 午前10時5分開議、諸般の報告の後、

日程第1 意見案第3号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決。次に、

日程第2 意見案第2号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次に、

日程第3 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号を議題とし、代表質問に入り、

宇川 源吉議員（自民）から、

- ① 道政執行の基本姿勢に関し、道職員の綱紀の保持に対する取り組み、今後の道政執行に臨む知事の決意
- ② 第2次臨調中間答申に係る行財政改革に関し、国庫補助負担率の地域特例の見直しを含む今回の臨調部会報告の受けとめ方、地方行財政に及ぼす影響と対処方針、本道の発展に向けての取り組みと国への対応
- ③ 農業問題に関し、異常気象に対応する寒地農業技術の確立についての取り組み、本年の異常気象対策、本道農業の発展方策と具体的な取り組み、てん菜をめぐる最近の情勢と今後の振興方策及び国への働きかけ方、酪農経営再建に係る資金対策の進め方と営農指導の強化、56年産生産者米価についての状況判断と対処方針
- ④ 日米合同訓練に係る漁業被害に関し、今回の漁具切断事故に伴う被害補償についての対応、事故の再発防止に対する所見
- ⑤ 林産業の不況対策に関し、本道林産業の不

況の現状、木材需要の拡大等具体的な打開策

- ⑥ 石炭産業の振興に関し、国内炭の優先使用と年間2千万トン生産体制維持のための安定対策の考え方、炭価決定制度の現状と適正炭価の確立に対する国への働きかけ、出炭コスト等の炭鉱間格差の是正に対する取り組み
- ⑦ 原発の立地促進に関し、原発建設に当たっての知事の基本姿勢、共和・泊原発に係る岩内郡漁協への対応とその見通し
- ⑧ 北電の電気料金改定に関し、電気料金値上げに伴う道民生活及び産業活動への影響、北電及び通産局に対する道の対処方針
- ⑨ 国鉄地方交通線の廃止問題に関し、国鉄の特定地方交通線の選定についての受けとめ方、関係団体の意見の内容、地方交通線の廃止に対する知事の基本姿勢、運輸大臣に対する意見の申し出等今後の対処方針
- ⑩ 教育問題に関し、今回の高校入試改善案の視点と予想される成果、遠距離通学の解消度、都市部における総合選抜制検討の見通し、高校新設による通学対策、ローカル線廃止に伴う教育活動への影響とバス転換による交通費の負担増加率及び道教委の対応、教科書問題の受けとめ方及び市町村教委に対する指導助言との関連
- ⑪ 通り魔事件の防止対策に関し、通り魔事件と精神障害者との関係、本道における要治療精神障害者の実態と療養施設の十分性、社会復帰促進に対する道の取り組み、通り魔事件の防止に対する道警本部の対処策について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時49分休憩、午後1時21分再開。ついて、

長岡 寛雄議員（社会）から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、知事の次期知事選不出馬表明及び副知事の辞任に係る道政運営の責任についての見解、前日高支庁長ら職員の森林法違反事件に伴う今後の処分公表の基本的方針と今回の処分再検討の考え、胆振支庁管内における職員不祥事件と綱紀粛正に対する所見、非核3原則に対する基本的見解
- ② 派遣大使に関し、行動日程の決め方と道南における行動内容、旭川での北方領土問題に関する発言の受けとめ方、今回のマスはえな

わ切断事件についての指導状況、派遣大使による道政上の効果

- ③ 行政改革に係る産業経済政策に関し、公共事業に係る本道特例措置をめぐる第2次臨調等中央情勢と今回の行政改革に対する見解、公共事業削減に伴う本道の景気、雇用への影響、今回の臨調特別部会報告による行政水準低下の懸念と道の対処方針、三全総のフォローアップ、地域産業ビジョン及び地域エネルギー開発利用調査報告書との関連における道発展計画の指標の見直し及び計画年次延長の考え、国鉄地方交通線の廃止に対する対応、運輸・交通政策に対する地方自治体の決定権拡大等制度改善について国へ要請方
- ④ 原発問題に関し、今回の敦賀原発事故についての事実関係、原子力安全委員会の見解の受けとめ方、原発の安全性に対する認識の変化、従業員被曝の実態と国の責任、原発立地促進施策に係る安全確保に対する国の姿勢、科学技術庁及び福井県の放射能漏れによる魚介類への影響調査の信頼性、福井県民会議の日本原電の告発と国の措置についての見解、北電の共和・泊原発の建設用地買収状況と活断層についての調査結果、漁業関係者との対応、下川鉱山での高レベル廃棄物の地層処分試験の状況、放射性物質の持ち込み等に対する確認状況、高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する総合エネルギー調査会原子力部会報告の受けとめ方
- ⑤ 自然保護問題に関し、釧路湿原の現状と周辺開発との関係についての認識、地元関係者等の意見の受けとめ方と湿原保護対策、開発事業に対する環境影響評価条例適用の考え、湿原保護に対する庁内体制の整備、風蓮湖がラムサール条約による登録湿地として指定されなかった理由と今後の方針
- ⑥ 障害者対策に関し、ノーマライゼーション理念の具体化の必要性、風疹の傾向と予防対策、障害者のための道施設の整備実態と改善計画、道路の改善整備状況、道立精薄者施設太陽の園の事件に伴う今後の事故防止対策
- ⑦ ベビーホテル対策に関し、ベビーホテル対策の基本的視点と実態調査の実施の目途
- ⑧ 婦人労働対策に関し、パートタイム雇用の

位置づけと労働災害補償体制、内職従事者の現状と就労条件の向上対策、最低工賃の拡大に向けての方策

- ⑨ 農業行政に関し、農業対策室における具体的取り組み、北海道農業検討会の今後の活用方策、畜産振興審議会・甘味資源審議会の委員としての知事の出席状況と今後の対処姿勢、北海道農業振興審議会の開催実態と今後の活用方針

- ⑩ 稲作・畑作問題に関し、麦価決定に当たっての国への対応状況と今回の生産奨励金削減についての見解、品質の向上及び運賃助成の廃止に対する対応、小麦の試験研究の充実強化と農業団体からの寄付金の活用、生産者要求米価の実現に向けての国への対応策、特別自主流通米の奨励金引き下げに伴う影響と対処策、食糧法改正に伴う道産米の位置づけと国への対応、てん菜の生産振興計画と実態との差異の理由、甘味資源審議会の建議の受けとめ方、砂糖の需給調整対策と異性化糖対策についての道の方針

- ⑪ 酪農対策に関し、本年度の乳価決定における国の乳製品在庫量把握の的確性、乳価据え置きについての受けとめ方、酪農負債整理資金の債務保証制度適用に対する国の検討経過と道の酪農負債対策、農業基盤整備事業費の増高理由と低減策、農業基盤整備事業に関する第2次臨調部会報告の受けとめ方と道の方針、異常気象対策についての考え方

- ⑫ 漁業問題に関し、沖合い底びき網漁業の実態と本道海域漁業資源に与える影響、漁業の再編整備の具体的取り組み、今回の日米合同訓練に伴う漁業被害についての所見と訓練抑止について国へ申し入れる考え、今回の被害の実態と補償の見通し及び日米安保条約の破棄に対する見解、道営コンブ検査の北海道水産物検査協会への移行に伴う検査体制の十分性、検査協会の運営に対する道の協力の仕方、検査担当改良普及員の処遇と普及事業の拡充強化との関連

- ⑬ 教育問題に関し、本道教育の認識と進むべき方向、教科書に対する批判、圧力等についての見解、教科書採択に当たって展示見本と異なる教科書が供給された経緯と道教委の見

解、今回の公立高校入学選抜に関する改善の基本的な考え方、総合選抜制導入を見送った理由、教育分野に係る第2次臨調部会報告の受けとめ方と道教委の対処方針

- ⑭ 交通事故防止対策に関し、事故防止に当たって運転者心理等の内面分析の必要性、道路構造・安全施設等の総合的見直しと関係機関との有機的連携機関の設置、車両構造と事故との関係及び対策、冬期間における交通の安全確保と円滑化に対する取り組みについて質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後3時52分休憩、午後4時50分再開して、直ちに延会。

○7月3日（金） 午後4時48分開議、諸般の報告の後、あらかじめ会議時間を延長の上、

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号を議題とし、代表質問を継続、知事から昨日の本会議における宇川源吉議員（自民）及び長岡寅雄議員（社会）の代表質問に対する答弁について補足訂正発言があって、直ちに延会。

○7月4日（土） 午前10時8分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号を議題とし、代表質問を継続、長岡寅雄議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により午前10時30分休憩、午後1時18分再開。知事及び教育長から休憩前の長岡議員の再質問に対する答弁。長岡議員から再再質問、知事から答弁の後、岩崎守男議員（社会）から議事録精査を求める旨発言があって、議事進行の都合により、午後1時53分休憩、午後4時46分再開、あらかじめ会議時間を延長の上、知事から休憩前の長岡議員の再再質問に対する補足答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、長岡議員から発言。ついで、議案調査のため7月6日休会することに決定して、直ちに延会。

○7月7日（火） 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 報告第49号ないし第55号を議題とし、知事から提案説明の後、**日程第1にあわせ**
日程第2 議案第1号ないし第10号、第12号
ないし第27号及び報告第1号ないし第24号を一括議題とし、代表質問を継続、

石川 十四夫議員（道政）から、

- ① 道政の後期執行に関し、幹部職員の人事異動に当たっての考え方、職員の綱紀保持についての決意、第2次臨調答申に対する道の対処
- ② エネルギー問題に関し、石炭鉱業審議会委員としての第7次石炭政策への取り組み、周辺鉱区の開発に対する見解、産炭地域振興の特定事業促進調整額制度の早期実施方、炭鉱跡地の再開発に対する所見、共和・泊原発立地に伴う漁業不安解消及び今後の漁業振興対策への取り組み
- ③ 水産問題に関し、日本海マスはえなわ漁業被害の補償解決及び救済措置への取り組み
- ④ 福祉問題に関し、社会福祉施設職員の資質向上策、社会福祉施設の設備充実策、福祉施設の管理運営のあり方
- ⑤ 北方領土問題に関し、根室地域振興対策予算の措置状況と国の振興対策の位置づけ、北方3島編入特例法案に対する知事の所見
- ⑥ 教育問題に関し、小樽市内の学校運営のあり方に対する見解と全道の実態把握の状況、小樽市小学校の教育課程についての指導状況について

質問があり、知事及び教育長から答弁。石川十四夫議員（道政）から再質問、知事から答弁。ついで、

浅野 俊一議員（公明）から、

- ① 公務員倫理に関し、4選不出馬と綱紀の粛正に係わる知事の決意、前日高支庁長の退職についての措置、前幹部職員の総務部勤務の取り扱い、不祥事件防止への取り組み、昇任試験制度導入に対する考え方、職員研修の現状及び今後の取り組み、幹部職員の養成策、公務員倫理確立のための取り組み
- ② 空港整備事業に関し、新千歳空港の早期供用開始への取り組み、空港用地取得への取り組み、ターミナル地域計画策定についての見解
- ③ 開発行政に関し、当別ダム建設に当たって

の関係住民の理解を得るための取り組み、建設予定地変更の意思、石狩湾新港地域開発に係る企業立地の現状認識と今後の見通し、札幌市内からの進出企業の現況と企業再配置についての考え方

- ④ 教育問題に関し、青少年非行の多発と低年齢化に対する現状認識及び対処策、いわゆる落ちこぼれについての現状認識と教員の資質との係わり合い及びその解消策、非行防止のための社会環境浄化対策への取り組み
- ⑤ 公安問題に関し、覚せい剤常用者の2次犯罪防止対策、覚せい剤事犯防止全道民総ぐるみ運動展開の必要性、覚せい剤専用白電話の増設の検討方、暴力団壊滅への取り組みについて

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。浅野俊一議員（公明）から再質問、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後3時1分休憩、午後3時23分再開。ついで、一般質問に入り、

山口 真人議員（自民）から、

- ① 積雪寒冷地冬季雇用促進給付金制度の終結後における冬季雇用対策への取り組み
- ② 教育問題に関し、学校教育の現状認識と基本姿勢、小樽市小学校の教育課程についての見解、中学校における新教育課程の実施状況、小樽市の教育課程編成の改善状況と指導について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 行政の文化化に関し、知事の基本認識及びこれまでの取り組み、文化化の具体的施設の展開、専掌課設置の必要性、学校施設への文化性の導入検討の必要性、道民大学設置の必要性
- ② 観光行政に関し、今後の本道観光のセールスポイントについての所見、観光開発に係わる道の財源措置及び観光開発策、市町村の観光施設整備に対する道の取り組み、青函トンネル開通記念事業の検討方
- ③ テクノポリス構想に関し、候補地決定に至る道の調整指導の十分性、建設の地域指定を受けるための具体的対策
- ④ 小児総合保健センターに関し、病棟の整備充実についての取り組み、幼児病棟の訓練部

門の整備と診療内容の充実策、診療対象年齢に関連しての将来構想について

質問があり、知事及び教育長から答弁があつて、午後4時26分延会。

○7月8日（水） 午前10時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、輪島幸雄議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があつて、議事進行の都合により、午前10時27分休憩、午後1時20分再開。知事から休憩前の輪島議員の再質問に対する答弁の後、輪島議員から意見があり、ついで、

伊藤 弘議員（自民）から、

- ① 社会福祉問題に関し、社会福祉法人の監査方法の改善検討の必要性、老人保健法案の老人医療に係る 地方の 財政負担についての 所見、道の老人医療給付特別対策事業との関連、制度実施に伴う医師・医療技術者の確保策
 - ② 環境保全問題に関し、自然保護と地域開発についての知事の基本的姿勢、釧路湿原の保護と利用の進め方、道東湿原国立公園化構想の検討方、青少年のための自然観察施設の設置促進方について
- 質問があり、知事から答弁。ついで、

樫林 巖議員（社会）から、

- ① 雇用問題に関し、産業用ロボットの開発普及と雇用との係わり、身体障害者の道職員採用枠及び職域の拡大化
- ② 石炭問題に関し、適正炭価設定についての国への働きかけ、炭価設定について北電を指導する必要性、炭価についての前副知事発言に対する所見、天北地域開発と電源立地促進の必要性
- ③ 社会福祉施設問題に関し、太陽の園事件に係る事業団における委託条項に基づく運営管理の実態、宿直室等設備の安全管理と勤務態様、事故再発防止策及び同種施設の宿直体制総点検の結果、遺族との対応について

質問があり、知事から答弁。樫林巖議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があ

つて、議事進行の都合により、午後2時57分休憩、午後4時49分再開し直ちに延会。

○7月9日（木） 午前10時9分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から昨日の樫林巖議員（社会）の再質問に対する答弁の後、

神本 三也議員（社会）から、

- ① 農業行政に関し、知事の農業振興についての基本姿勢、56年度乳価と乳製品の過剰在庫及び酪農安定対策についての所見、飼料用稲の開発利用の促進方、てん菜の作付と原料処理に対する考え方、砂糖の売り戻し臨時特例法の失効に当たっての取り組み、異性化糖を含む甘味品の総合的需給対策についての所見と対応策、麦の円滑な流通のための運賃助成の継続化、小麦の試験研究の拡充強化への取り組み、機械・施設等整備による麦の流通対策、麦価の品質格差についての取り組み、第2次臨調中間答申に係わる農業改良普及事業のあり方に対する見解、第3次土地改良長期計画策定に当たっての道の対応、農業基盤整備事業の農家負担対策、水田汎用化と畑地帯総合土地改良への取り組み、小団地の土地改良に対する推進方策

- ② 北海道生活指標に関し、行政推進上における指標の位置づけ、望ましい水準等との対比による現状把握の必要性、指標に基づく地域格差是正への努力について

質問があり、知事から答弁。神本三也議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があつて、議事進行の都合により、午前11時17分休憩、午後1時50分再開。知事から休憩前の神本議員の再質問に対する答弁。ついで、

米村 邦敏議員（社会）から、

- ① 環境保全問題に関し、知事の自然環境保全に対する基本的な考え方、サロベツ原野の公園区域の拡大化、オホーツクの村の自然保護についての取り組み、知床百平米運動対象地の保護規制の強化、知床横断道路開通に伴う自動車走行による周辺環境への影響、休養施

設等環境保全対策及び交通安全対策への取り組み、根室地域振興による自然公園内の事業と環境保全についての所見、湖沼に対する環境保全対策、湖沼の水質調査個所の拡大、網走湖の水質保全への施策内容と今後における対策、湖沼・湿原等の自然環境保全のための条例改正等の考え、環境緑化の推進に関する基本的方策についての答申の実現を目指した取り組み

- ② 林業・林産業問題に関し、林業労働者に係る雇用安定及び福祉の向上等についての推進策、振動障害防止及び労働安全についての取り組み、木材の需給見通し、パルプ産業の不況カルテルによる生産制限と林産活動に与える影響、木材流通調査の成果と活用、製材の過剰在庫解消策、木材需要の拡大策、林産業に対する金融施策、製材業構造改善の推進策、道有林経営に及ぼす影響と見通し

- ③ 営林署統廃合問題に関し、知事の現状認識及び対処策について

質問があり、知事及び警察本部長から答弁。米村邦敏議員（社会）から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午後3時51分休憩、午後4時15分再開。あらかじめ会議時間を延長の上、

小田原 要四蔵議員（社会）から、

- ① 第2次臨調に関し、臨調の審議内容についての見解、地方への負担転嫁及び個人への負担転嫁に対する所見、行政と民間並びに国と地方の分担のあり方、国庫補助金の整理合理化に伴う本道への影響、大規模プロジェクトと公共事業の本道経済、雇用に及ぼす影響についての比較

- ② 季節労働者対策に関し、季節労働者についての実態認識と対策の見通し、下請企業の雇用の実態と対策、雇用対策本部における取り組み、道独自の対策の必要性、積寒給付金制度の時限再延長と通年雇用達成の見通し、積寒給付金代替制度についての国への働きかけ
- ③ 懲戒処分に関し、不祥事件に係る前口高支庁長の退職措置についての考え方、監督責任を問わない理由、懲戒処分についての基本的見解及び公表の基準について

質問があり、知事、教育委員長、人事委員長、代表監査委員、公営企業管理者及び警察本部長から答弁があ

つて、午後5時10分延会。

○7月10日（金） 午前10時12分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、小田原要四蔵議員（社会）から再質問及び再再質問があり、知事、教育委員長及び警察本部長から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、小田原議員から意見及び要望があり、ついで、

勝木 省三議員（道政）から、

- ① 根室地域振興に関し、振興対策についての取り組み、公共・非公共別の56年度予算内容、57年度予算要求の方針、推進体制の方針と実態、北方領土関連の予算措置の方針

- ② 教育問題に関し、高校の教職員定数の見直し及び施設等教育条件の整備についての考え、体力づくりのための高校体育施設の拡充強化策、高校を地域に開かれた学校として生かす施策について

質問があり、知事及び教育長から答弁。勝木省三議員（道政）から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午前11時52分休憩、午後1時15分再開。ついで、

吉野 之雄議員（社会）から、

原発問題に関し、営業用原子炉としての軽水炉の評価及び安全性、敦賀原発の事故に係る通産省説明会の内容及び共和・泊立地に係る現地説明会での地域住民の反応、原発立地に伴う地域住民の生活変化への対応、北電の地質調査状況及び調査結果の公表の必要性、安全性についての判断と対処策、用地確保の状況と見通し、農業影響調査内容と結論及び北電報告書についての見解、漁業影響の認識、漁業権補償等の算出根拠、漁業振興資金の性格と道の仲介の適否、放射性物質の生物影響についての認識、安全協定の法的効力、原発従事者の被曝についての見解、放射性廃棄物の処理処分についての考え、原発のエネルギー収支面での代替性、イスラエルによるイラクの研究炉破壊に伴う武力破壊の危険性に対する認識、代替エネルギーの開発に対する所見について

質問があり、知事から答弁。吉野之雄議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により、午後2時37分休憩、午後3時44分再開。知事から休憩前の吉野議員の再質問に対する答弁。吉野議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、吉野議員から質問があり、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長の上、

熊谷 克治議員（社会）から、

- ① 情報公開問題に関し、行政の公開・非公開についての知事の基本的姿勢、制度化に向けての国・他府県の動向把握と検討、情報の収集・検討プロジェクトチーム編成の必要性と同プロジェクトにおける文書管理規程の見直し検討の考え、文書管理規程の見直し作業の現状と施行時期及び秘密に関する原則的な理念、新規施行までの文書の開示についての対応、職員の意識変革のための研修会の開催及び意識調査の必要性
- ② 教育問題に関し、学校教育における教師の自発性・創造性についての見解、思想的教科書批判に対する見解と過去の弾圧事例についての所見、教科書採択制度及び採択地区の現行区分に対する考え、学校内規による職員会議の位置づけに対する所見、教育界における障害者雇用の現状と今後の対応策について質問があり、知事、教育委員長及び教育長から答弁。熊谷克治議員（社会）から再質問及び再再質問があり、知事から答弁があって、午後5時2分延会。

○7月11日（土） 午前10時18分開議、諸般の報告の後、議長から、吉野之雄議員（社会）の昨日の本会議における発言の一部訂正の申し出について報告の後、知事から、昭和56年7月5日から6日にかけての低気圧と前線による日高地方を中心とした大雨災害に関する報告。ついで、

日程第1 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙を行い、議長からの指名推選の方法により、宇野真平議員（自民）及び星野健三議員（社会）を当選人と決定。ついで、

日程第2 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙を行い、議長からの指名推選の方法により、関根建二議員（社会）及び高木繁光議員（自民）を当選人と決定。ついで、

日程第3 議案第1号ないし第10号、第12号

ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

木下 一見議員（道政）から、

- ① 観光行政に関し、観光レクリエーション産業に対する認識、道の観光行政組織の充実強化、道外観光客の誘致宣伝の強化、観光情報センターの設置の考え、観光客に対するサービス向上と関係施設の改善整備策、自然環境保全対策の進め方
- ② 中小企業対策に関し、工業振興対策についての所見、国の技術センター構想等に係る技術振興対策の考え方、デザイン技術の充実強化に対する見解
- ③ 校内暴力対策に関し、校内暴力の背景と要因、防止に対する道教委の取り組み、最近の発生件数と原因、校内暴力に係る道警との連携のあり方、生徒指導推進地域の指定及び実施の状況、モデルコミュニティの設定による指導の考え方について

質問があり、知事及び教育長から答弁。ついで、

伊藤 武一議員（公明）から、

- ① 不況対策と地域振興に関し、特定不況地域振興ビジョンの具体化に向けての取り組み、中小企業の体質強化策、中小建設業の育成強化策、中小企業大学校の設置についての進捗状況と今後の見通し、地域振興対策の取り組み方
- ② エネルギー問題に関し、日本原子力発電敦賀発電所の事故の受けとめ方、原発の安全確保対策についての現状認識と共和・泊原発推進との関係、道東火力発電所建設の推進方策、道東地域におけるコールセンター建設の考え、未利用低品位炭の開発利用、プロパンガスの本州との価格差解消に取り組む決意、プロパンガス一次輸入基地の誘致の現状、北電の電気料金の値上げ延期と値上げ幅縮小等について国への要請方
- ③ 成人病予防対策に関し、循環器検診の受診率に対する見解と向上策、がん予防対策の強化策、簡易人間ドック等の2次検診体制の確立、健康教育の充実強化
- ④ 国民健康保険事業に関し、老人医療別建による国保に与える影響、国保事業運営の健全

化に対する考え方と具体的措置

- ⑤ 資源活用による農業振興に関し、泥炭の飼料化及び実用化に対する所見、ローカルエネルギー利用による野菜生産への取り組み、未利用低品位炭のハウス等施設熱源への活用について

質問があり、知事から答弁。伊藤武一議員（公明）から再質問、知事から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時17分休憩、午後1時44分再開。ついで、

本間 喜代人議員（共産）から、

- ① 核及び防衛問題に関し、米艦の核持ち込み問題に対する認識と道内寄港拒否の考え、非核3原則の確立と法制化について国への働きかけ、漁業関係者等の中止要請に反する日米合同訓練の実施についての見解と積丹沖での米艦の行動についての認識、訓練に伴う漁業被害の再発防止措置、石狩湾における掃海訓練計画の実情、道内大規模演習の拒否、北方の脅威と対潜哨戒機P3C調達等の防衛力強化についての所見、核兵器の全面禁止協定等の実現について国へ要請する考え、来年度予算要求に当たっての防衛費の特別枠設定についての受けとめ方
- ② 臨調部会報告に係る行政改革に関し、汚職、不公平税制等に係る改革すべき分野とその方向についての見解、国民健康保険給付費の一部地方負担についての対処姿勢、道の老人医療給付特別対策事業の継続の考え、40人学級及び教科書無償制度に係る対応、生活関連公共事業の拡充、急傾斜地崩壊防止事業の推進
- ③ 知事の政治姿勢に関し、不正疑惑会社の会報への知事年頭あいさつ文の掲載経緯と見解、フジタ工業の不正事件に伴う道の指名停止基準該当の有無と今回の工事請負契約との関係、国鉄ローカル線問題に対する対応、オリンピック総業㈱の営業停止処分期間中の営業行為についての認識と道の指導監督責任
- ④ 小樽運河問題に関し、公有水面埋立免許願書の添付図面の修正についての考え方、埋め立て面積等の差異についての違法性、運河に係る環境整備計画と公有水面埋め立て手続きとの関連
- ⑤ 原発と電気料金に関し、敦賀原発事故に伴

う検出物質についての受けとめ方と国の説明内容、共和・泊原発に係る漁業補償交渉の中止及び補償算定基準等の公開についての所見、漁業補償費と北電の電気料金との関連性、料金値上げの抑止

- ⑥ 苫東開発計画に関し、マスタープランの根本的見直しの考え、58年目標計画の達成見通し、いすゞ自動車の事業計画と本道への波及効果、製品搬出に係る苫小牧東港地区公共埠頭の完成見通し
- ⑦ 石狩湾新港開発に関し、木材流通に係る小樽港との機能分担、木材港区の供用開始時期、小樽市の要請に対する対応状況、港湾区域内における共同漁業権の再設定の理由と今後の措置
- ⑧ 障害者対策に関し、歯科治療のための巡回診療車の配置の考え、ボイタ技法講習会への助成拡充、視覚・聴覚障害者に対する道の特別選考採用試験の配慮と雇用拡大の取り組み
- ⑨ 魚道整備に関し、さけ・ます通路整備事業5か年計画の完全達成と新計画の樹立に対する国への働きかけ
- ⑩ カラマツ対策に関し、林務署庁舎建築等における利用状況、道の建築工事及び公共土木工事における使用・普及の拡大、農業用施設への利用促進、関係機関による利用推進委員会の設置の考え、ボード工場の立地検討方
- ⑪ 教育問題に関し、今回の高校入試改善案において総合選抜制の導入を見送った理由と実施の見通し、養護学校高等部の拡充整備と自閉症児の受け入れに対する所見、養護学校の水泳プールの整備、校内暴力等非行防止に対する具体的措置と今後の方針、アイヌ文化の保存、伝承対策の促進、伝承文化の重要無形文化財の指定についての国への働きかけについて

質問があり、知事及び教育長から答弁。本間喜代人議員（共産）から再質問、知事及び教育長から答弁。本間議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、本間議員から質疑があり、知事から答弁があって、質疑並びに一般質問を終結。ついで、

小田原要四蔵議員（社会）から、予算及び企業会計決算に関する案件について、31人の委員

をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、議案第1号は予算特別委員会に、報告第49号ないし第55号は企業会計決算特別委員会にそれぞれ付託されたいとの動議を提出、賛成があって動議成立、動議に係る各案件は、予算及び企業会計決算特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。ついで、残余の案件について議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

○予算特別委員（31人）

神本 三也（社会）	伊藤 弘（自民）
桜井 外治（自民）	佐々木行雄（自民）
勝木 省三（道政）	木下 一見（道政）
中川 隆之（道政）	中川 義雄（自民）
山口 真人（自民）	関根 建二（社会）
萩上 元春（社会）	吉野 之雄（社会）
伊藤 武一（公明）	工藤 啓二（公明）
川崎 守（共産）	輪島 幸雄（社会）
岡本栄太郎（社会）	渋谷 澄夫（社会）
石山 直行（自民）	佐々木利昭（自民）
佐藤 静雄（自民）	寺崎 政朝（自民）
新沼 浩（自民）	古川 靖晃（自民）
小笠原 孝（自民）	工藤万砂美（自民）
山家 勇（社会）	藤井 猛（自民）
吉田 政一（自民）	田刈子政太郎（自民）
滝沢 勉（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

神本 三也（社会）	勝木 省三（道政）
中川 隆之（道政）	土屋 良三（自民）
久田 恭弘（自民）	青山 正男（自民）
関根 建二（社会）	工藤 啓二（公明）
岡本栄太郎（社会）	石山 直行（自民）
高木 繁光（自民）	新沼 浩（自民）
大平 秀雄（自民）	小沢 栄吉（自民）
舟山 広治（社会）	熊谷 克治（社会）
藤井 猛（自民）	東 典俊（自民）
高橋正四郎（自民）	

次に、各委員会付託議案審査のため、7月13日から14日まで休会とすることに決定して、午後4時4分散会。

○7月15日（水） 午後4時39分開議、諸般の報

告の後、

日程第1 請願・陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、いずれも異議なく委員会決定（採択12件）のとおり決定。ついで、

日程第2 会期延長の件を議題とし、会期を7月16日まで1日間延長することに異議なく決定して、午後4時40分散会。

○7月16日（木） 午後2時49分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後2時20分休憩、午後7時23分再開。諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号を議題とし、山家勇予算特別委員長（社会）から議案第1号について、青山正男総務委員長（自民）から議案第2号ないし第6号、第10号、第12号、第13号、第23号、報告第1号ないし第4号及び第24号について、石山直行厚生委員長（自民）から議案第7号、第14号及び第22号について、藤井虎雄商工労働委員長（社会）から議案第8号及び第21号について、若狭靖農務委員長（自民）から議案第9号について、笹浪幸男建設委員長（自民）から議案第15号ないし第20号及び第24号について、中田繁夫文教林務委員長（社会）から議案第25号ないし第27号及び報告第5号ないし第23号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から議案第5号、第6号、第8号、第14号、第15号及び第23号に関する反対討論があって討論終結。ついで、採決に入り、まず、

議案第23号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

議案第4号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、無所属反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

議案第5号、第6号、第8号、第14号及び第15号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、

議案第1号ないし第3号、第7号、第9号、第10号、第12号、第13号、第16号ないし第22号、

第24号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり原案可決または承認議決。ついで、

日程第2 議案第29号ないし第31号を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から議案第30号に関する反対討論があって討論終結。ついで、採決に入り、まず、

議案第29号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決。次に、

議案第30号のうち、樫原匡幸君の北海道監査委員の選任につき同意を求める件を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決。次に、

議案第30号のうち、村上肇明君の北海道監査委員の選任につき同意を求める件を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。次に、

議案第31号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決。ついで、

日程第3 意見案第9号及び第10号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から意見案第9号に関する反対討論があって討論終結。ついで、採決に入り、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決。ついで、

日程第4 意見案第4号ないし第8号及び第11号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、いずれも異議なく原案のとおり可決。ついで、

日程第5 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、いずれも異議なく委員会決定（採択3件）のとおり決定。ついで、

閉会中報告第49号ないし第55号及び前会より継続審査中の報告第2号継続審査の件を議題とし、異議なく企業会計決算特別委員長及び決算特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査に付することに決定。次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、各常任委員長並びに公害対策特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案

件は、報告第49号ないし第55号及び前会より継続審査中の報告第2号を除きすべて議了。松浦義信議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後7時59分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、7月11日に設置され、昭和56年度一般会計補正予算が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に吉野之雄君、副委員長に桜井外治君、第2分科会は、委員長に佐藤静雄君、副委員長に輪島幸雄君を選出するとともに、審査の方法等について協議を行い、13日から各部所管質疑に入り、本日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、先ほどの委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託された案件は、当初予算編成時に見込み得なかった経費で、当面必要とする経費について所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計9千6百万円余に及ぶ補正予算でありまして、本件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交された次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知をお願いしたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げますと、

北海道住宅供給公社の業務について、道幹部職員の業界天下りについて、小樽運河問題についてなどであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、付託案件について意見の調整を図りました結果、本日の委員会におきまして、その内容を適切なものと認め、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 26	1	昭和56年度北海道一般会計補正予算（第1号）	予算特別	7. 16	原案可決
同	2	北海道恩給条例等の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	3	北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	4	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	5	農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	6	過疎地域における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	7	北海道身体障害者総合更生援護施設条例の一部を改正する条例案	厚 生	同	同
同	8	北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案	商工労働	同	同
同	9	北海道農産物検査条例の一部を改正する条例案	農 務	同	同
同	10	警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	11	北海道副知事定数特例条例を廃止する条例案	同	6. 26	同
同	12	工事請負契約の締結（北海道防災無線電話設備工事）に関する件	同	7. 16	同
同	13	工事請負契約の締結（防災無線電話施設建設工事）に関する件	同	同	同
同	14	工事請負契約の締結（（仮称）北海道衛生大学新築工事）に関する件	厚 生	同	同
同	15	工事請負契約の締結（十勝川流域下水道帯広幹線管路施設工事）に関する件	建 設	同	同
同	16	工事請負契約の締結（石狩川流域下水道滝川汚水中継ポンプ場躯体工事）に関する件	同	同	同
同	17	工事請負契約の締結（石狩川流域下水道管きょ新設工事）に関する件	同	同	同
同	18	工事請負契約の締結（十勝川流域下水道浄化センター汚泥処理棟建設工事）に関する件	同	同	同
同	19	工事請負契約の締結（3・4・8西10丁目通（岩見沢市）立体交差工事その2）に関する件	同	同	同
同	20	工事請負契約の変更〔工事請負契約の締結（昭和52年8月4日議決を経た議案第16号に係るもの）〕に関する件	同	同	同
同	21	財産の取得（北海道立名寄専修職業訓練校建設用地）に関する件	商工労働	同	同
同	22	財産の取得（北海道立身体障害者リハビリテーションセンター（仮称）建設用地）に関する件	厚 生	同	同
同	23	財産の取得（苫小牧東部工業基地用地）に関する件	総 務	同	同
同	24	財産の取得（十勝川流域下水道浄化センター汚泥処理棟建設用地）に関する件	建 設	同	同
同	25	財産の取得（北海道札幌豊平区高等学校建設用地）に関する件	文教林務	同	同
同	26	財産の取得（北海道釧路地区高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	27	財産の取得（北海道道東地区高等養護学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	28	北海道副知事の選任につき同意を求める件		6. 26	同意議決

提出月日	番号	件名	付託 委員会	議決月日	議事結果
7. 16	29	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		7. 16	同意議決
同	30	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	31	特別職職員の新職手当の額を定める件		同	原案可決

報 告

提出月日	番号	件名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 26	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例 3月31日専決処分）	総務	7. 16	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（札幌医科大学中央動物実験施設その他増改築工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道十勝支庁庁舎改築第3期工事）5月27日専決処分〕	同	同	同
同	4	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道十勝支庁庁舎改築第3期空気調和設備工事）5月27日専決処分〕	同	同	同
同	5	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川工業高等学校改築第2期工事）5月13日専決処分〕	文教林務	同	同
同	6	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道苫小牧工業高等学校改築工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	7	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道浦河高等学校改築第3期工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	8	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（（仮称）北海道立旭川美術館新築第2期工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	9	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道室蘭工業高等学校改築第3期工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川商業高等学校改築第3期工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	11	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道清水高等学校改築第3期工事）5月13日専決処分〕	同	同	同
同	12	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道小樽工業高等学校改築第2期工事）5月23日専決処分〕	同	同	同
同	13	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道森高等学校改築工事）5月23日専決処分〕	同	同	同
同	14	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道夕張工業高等学校改築第3期工事）5月23日専決処分〕	同	同	同
同	15	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道岩見沢高等養護学校新築第2期工事）5月23日専決処分〕	同	同	同
同	16	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川南高等学校改築工事）5月27日専決処分〕	同	同	同
同	17	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道帯広農業高等学校改築工事）5月27日専決処分〕	同	同	同
同	18	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道江差地区高等学校新築工事）5月27日専決処分〕	同	同	同
同	19	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道函館西高等学校改築工事）5月27日専決処分〕	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 26	20	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道旭川工業高等学校改築第2期暖房設備工事）5月27日専決処分〕	文教林務	7. 16	承認議決
同	21	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道五稜郭養護学校新築工事）6月1日専決処分〕	同	同	同
同	22	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（（仮称）北海道立北見体育センター新築第2期工事）6月1日専決処分〕	同	同	同
同	23	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（北海道青柳養護学校新築工事）6月1日専決処分〕	同	同	同
同	24	専決処分報告につき承認を求める件〔工事請負契約の締結に関する件（札幌運転免許試験場新築第2期工事）6月1日専決処分〕	総務	同	同
同	25	昭和55年度北海道継続費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	26	昭和55年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			同
同	27	昭和55年度北海道有林野事業会計予算繰越計算書報告の件			同
同	28	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	29	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	30	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	31	社団法人北海道私立専修学校各種学校基金協会の経営状況に関する件			同
同	32	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	33	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	34	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	35	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	36	社団法人北海道産炭地域振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	37	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	38	財団法人北海道教育施設整備公社の経営状況に関する件			同
同	39	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	40	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	41	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	42	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	43	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	44	社団法人北海道生乳検査協会の経営状況に関する件			同
同	45	株式会社北海道生薬公社の経営状況に関する件			同
同	46	専決処分報告の件（風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例、6月4日専決処分）			同
同	47	専決処分報告の件（調停に関する件、4月18日専決処分）			同
同	48	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定 4月16日1件、4月28日1件、5月18日1件、5月22日9件、6月2日1件、6月5日1件、6月8日3件、6月12日5件、6月13日2件専決処分）			同
7. 7	49	昭和55年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	7. 16	継続審査
同	50	昭和55年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	51	昭和55年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
7. 7	52	昭和55年度北海道電気事業会計決算に関する件	企業会計決算特別	7. 16	継続審査
同	53	昭和55年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	54	昭和55年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	55	昭和55年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

第2回定例会において議員から提出のあった案件

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
6. 26	1	適正炭価に関する要望意見書	工藤万砂美議員 ほか14人	6. 26	原案可決
7. 2	2	昭和56年産生産者米価等に関する要望意見書	若狭 靖議員ほか12人	7. 2	同
同	3	砂糖の価格安定等に関する要望意見書	同	同	同
7. 16	4	市町村社会福祉協議会の法制化に関する要望意見書	石山直行議員ほか12人	7. 16	同
同	5	医療ソーシャルワーカーの制度化に関する要望意見書	同	同	同
同	6	日米合同訓練に伴う被害補償等に関する要望意見書	新沼 浩議員ほか11人	同	同
同	7	大雨災害対策に関する要望意見書	笹浪幸男議員ほか36人	同	同
同	8	郵便貯金の現行制度に関する要望意見書	青山正男議員ほか12人	同	同
同	9	道路整備特定財源の確保に関する要望意見書	笹浪幸男議員ほか12人	同	同
同	10	テクノポリス建設に関する要望意見書	藤井虎雄議員ほか11人	同	同
同	11	非核3原則の堅持等に関する要望意見書	青山正男議員ほか12人	同	同

前会から継続審査中の案件

議案

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 24	41	北海道立静和園条例を廃止する条例案	厚生	6. 26	原案可決

報告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
55.12.9	2	昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	56.7.16	継続審査

意見案

意見案第1号

(工藤万砂美議員ほか14人提出)
6月26日 原案可決

適正炭価に関する要望意見書

最近の石油事情の激変に伴い、石炭の重要性は、益々高まっており、石油代替エネルギー源としての石炭利用は急速に増加しつつあります。

しかしながら、石炭産業は依然として厳しい経営状態におかれ、更に又、産炭地域経済は引続き低迷の一途をたどり、現状で推移するならばエネルギー供給基地としての存在である北海道の将来計画に重大なる影響を来すのは必然であります。

従って、石炭産業安定の基本である適正炭価を設定することが石炭産業の早期安定と産炭地域振興の原点であり、北海道発展のための重要な課題であります。

特に、基準炭価については、石炭鉱業合理化臨時措置法第58条によって「石炭の生産費、石炭の輸入価格、石炭以外の燃料の価格、その他の経済事情を考慮して定めなければならない」と規定されているところであります。

よって、石炭企業の経営安定を図る基本として、前記措置法に基づき石炭生産コストを補償できるよう昭和56年度の炭価引上げ（一般炭・5000キロカロリー、電力向引上額1,035円/トン）について、特段の措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長

内閣総理大臣、通商産業大臣 } 各通
北海道開発庁長官

意見案第2号

(若狭 靖議員ほか12人提出)
7月2日 原案可決

昭和56年産生産者米価等に関する要望意見書

本道農業は、恵まれた土地資源を背景に着実な発展を続け、国民食糧の安定的な供給に重要な役割りを果たしている。

しかしながら、農業をめぐる情勢は、近年、一段と厳しさを増しており、特に、本道農業の基幹部門である稲作は、水田利用再編第2期対策の実施によって、水田本地面積の50パーセントにも及ぶ転作を余儀なくされ、加えて、昨年の異常低温による減収など極めて困難な状況のもとに置かれている。

稲作農家は、これらの困難な事態に耐えつつ、更に一層、良質米の生産に全力をあげ努力しているが、最近における生産資材、労賃等の高騰により、農家の経営は一層苦しいものとなっているので、国におかれても、このような厳しい実態を十分配慮され、当面する生産者米価等について、次により決定されるよう強く要望する。

記

1. 昭和56年産米政府買入価格については、稲作農家の経営実態を十分勘案するとともに、物価・賃金の動向を勘案し、再生産が確保できる米価（60キログラム）20,498円とするこ

と。

2. 米の消費拡大対策を拡充強化するとともに、道産米の消費拡大に一層配慮すること。
3. 道産米の流通拡大のため、特別自主流通米に対する適正な助成措置を講ずること。
4. 食糧管理制度の根幹を堅持するとともに、その運用に当たっては、特に本道稲作経営の安定が図られるよう十分配慮すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

意見案第3号

(若狭 靖議員ほか12人提出)
7月2日 原案可決

砂糖の価格安定等に関する要望意見書

てん菜は、北海道畑作農業の基幹作物であり、また、わが国の貴重な甘味資源として、極めて重要な作物である。

しかしながら、近年、消費者の甘味離れ傾向や異性化糖の進出による砂糖消費の停滞など、てん菜を取り巻く情勢は、厳しさを増しており、今後、てん菜の安定的な生産振興とてん菜糖業の健全な発展を期するためには、砂糖の需給調整措置と適正な価格形式を図ることがきわめて重要であるので、「砂糖の価格安定等に関する法律第5条第1項の規定による売渡しに係る指定糖の売戻しについての臨時特例に関する法律」の延長等適切な措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

意見案第4号

(石山直行議員ほか12人提出)
7月16日 原案可決

市町村社会福祉協議会の法制化に関する要望意見書

市町村社会福祉協議会は、社会福祉事業の基本理念である福祉への住民参加の促進及び地域社会の福祉向上に重要な役割りを果たしているが、近年、住民の福祉ニーズは多様化、複雑化し、市町村社会福祉協議会の今後一層の活動が望まれている。

しかしながら、現行の社会福祉事業法においては、市町村社会福祉協議会に関する規定がなく、法的位置づけがなされていないため、公共性の高い協議会の運営並びに地域福祉活動の進展に大きな障害となっている。

よって、政府においては、早急に社会福祉事業法を改正し、市町村社会福祉協議会の法制化実現を図られるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

意見案第 5 号

(石山直行議員ほか12人提出)
7月16日 原案可決

医療ソーシャルワーカーの制度化に関する要望意見書

近年、疾病構造の変化と医療の専門化が進むなかで、療養生活上の精神的、社会的、経済的問題を抱える患者及び家族等に対し、専門的立場から問題の解決を援助する医療ソーシャルワーカーの業務は、極めて重要なものとなっている。

しかしながら、現在、医療ソーシャルワーカーの資格認定及び配置基準が明確化、制度化されておらず、また、設置についての財政的保障がないため、医療機関等への配置が困難な状況にある。

よって、政府は、医療ソーシャルワーカーに係る現状を十分認識され、資格認定、配置基準の制度化を図られるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
厚生大臣

意見案第 6 号

(新沼 浩議員ほか11人提出)
7月16日 原案可決

日米合同訓練に伴う被害補償等に関する要望意見書

このたび、ますの盛漁期である日本海において、日米両国艦艇による合同訓練が行われ、漁業被害が発生し、関係漁業者を不安に陥れたことは誠に遺憾にたえない。

ことに関係漁業者は、2 百海里時代を迎え、主要漁場喪失による生産の減少や近年の燃油高騰による経費の増高によって、その経営は極度にひっ迫している折でもあり、今回の事故による被害の打撃は極めて大きなものがあるので、政府は、これら漁業者の心情を十分しんしゃくされ、被害補償について速やかに全面解決が図られるよう努力されたい。

なお、加害者が特定できないため、早期解決が困難な場合であっても、本問題発生経緯に鑑み、政府において適切な措置を講ずるよう配慮されたい。

また、今後、事件の再発を防止するため、関係省庁間に訓練の時期、区域等について連絡協議を行う体制を早期に確立するなど必要な措置を講じ、漁業者の操業の安全を確保するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣 } 各通
運輸大臣、内閣官房長官、防衛庁長官

意見案第7号

(笹浪幸男議員ほか36人提出)
7月16日 原案可決

大雨災害対策に関する要望意見書

去る7月5日から6日にかけての低気圧と前線の影響により、日高地方を中心に大雨に見舞われ、日高管内をはじめ、3市22町にわたり多大の被害を受けたところであり、災害復旧に要する負担は極めて大きく、道及び地元市町の財政事情のもとでは、到底万全を期せられない実情である。

よって、国においては当面次の事項について速やかに措置されるよう要望する。

記

1. 災害復旧を早期に進めるため、緊急査定を実施されるとともに、災害復旧事業費について、当該事業の進度に応じた国庫補助金が交付されるよう配慮願いたい。
 2. 急傾斜地の崩壊による災害防止のための事業の促進を図られたい。
 3. 公共土木施設について、再災害の発生を防止するため、全面的に改良復旧を取り入れるよう配慮願いたい。
 4. 緊急治山事業並びに林道施設災害復旧事業の採択及び早期実施について配慮願いたい。
- 右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

農林水産大臣、建設大臣 } 各通
北海道開発庁長官

意見案第8号

(青山正男議員ほか12人提出)
7月16日 原案可決

郵便貯金の現行制度に関する要望意見書

政府は、本年1月14日、内閣総理大臣の諮問機関として「金融の分野における官業のあり方に関する懇談会」を設置しました。

この懇談会は金利政策の一元化、官業への資金集中の見直し、及び金融の分野における官業のあり方等を検討することになっております。

いうまでもなく郵便貯金は庶民の零細な貯金で、全国いたるところで利用できる国民の貯蓄手段であり、その資金は財政投融资として政府関係機関、地方公共団体への融資など国民生活と大きなかわりをもっているだけでなく、財政基盤の一翼も担っているものであります。

従って郵便貯金の金利は利用者である多くの国民の預金者保護の立場から決定されるべきと考えます。

よって現行郵便貯金制度の検討にあっては、国民大衆の福祉向上に資するよう強く要望します。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
郵政大臣 }

意見案第9号

(笹浪幸男議員ほか12人提出)
7月16日 原案可決

道路整備特定財源の確保に関する要望意見書

経済社会の基盤である道路網の整備は、厳しい財政事業のもとで計画的に推進されているところである。

しかしながら、わが国の道路事業は欧米先進国に比し質量ともに劣っており、とりわけ地方道路の整備が著しく立ち遅れている。

このような状況の中で、増大する交通需要を安全かつ効率的に処理して地域の発展基盤の形成と住民の生活基盤の充実を図るため、長期的に安定した財源のもとで道路整備を一層推進する必要がある。

よって、政府におかれては、国土の均衡ある発展を図るため、次の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 第8次道路整備5箇年計画を完遂するために必要な道路予算を確保すること。
2. 揮発油税、自動車重量税等の道路財源を全額確保すること。
3. 地方公共団体の道路財源を強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣 } 各通
北海道開発庁長官 }

意見案第10号

(藤井虎雄議員ほか11人提出)
7月16日 原案可決

テクノポリス建設に関する要望意見書

今回、函館地域は、テクノポリス構想の調査対象20地域のうちに選定され、更に準備体制などの進んでいる重点8地域の一つとして指定されている。

北海道は、広大な面積と豊かな自然に恵まれており、第3次全国総合開発計画、工業再配置計画、新北海道総合開発計画など国の計画においてもわが国における人口、産業の適正配置を推進するうえで、重要な地域として位置づけられている。

なかでも函館地域は、気候的に温暖であるほか、テクノポリス構想における母都市としての規模や機能、3大都市圏、地方中核都市への日帰り行動圏にあることなど、本構想にふさわしい条件を備えている。

従って、テクノポリス構想の実現に当たっては、このような立地条件を備えている函館地域に建設されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣 } 各通
北海道開発庁長官

意見案第11号

(青山正男議員ほか12人提出)
7月16日 原案可決

非核3原則の堅持等に関する要望意見書

核兵器を持たず、作らず、持たせずの非核3原則は、被爆国日本の国民的合意となっているが、一部新聞報道による核積載米艦船の日本寄港有無に関する問題は、国民に不安を与えており、誠に憂慮にたえない。

よって、北海道議会は、政府において左記の事項に関し、最善の努力を払われるよう強く要望する。

記

1. 非核3原則を堅持すること。
2. 非核3原則に対する国民の不安を解消するため、適切な措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松 浦 義 信

内閣総理大臣、外務大臣 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
116	「核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律（非核三原則法）」の制定促進に関する件	札幌市北6条西7丁目 原水爆禁止北海道協議会 理事長 松浦 一	総 務	継続審査
117	老人医療無料制度の充実を求める決議に関する件	札幌市白石区菊水6条2丁目 北海道民主医療機関連合会 杉原 春夫	厚 生	同
118	老人保健法（案）の制定に関する件	札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会長 山崎 武夫	同	同
119	医療法の一部改正に関する件	同	同	同
120	医業税制の確立及び新医療法人の立法化に関する件	同	同	同
121	療養担当手当の引上げに関する件	同	同	同
122	「医療ソーシャルワーカー」の資格の制度化促進に関する件	札幌市豊平区平岸910 北海道医療社会事業協会 会長 遠藤三千之	同	採 択
123	市町村社会福祉協議会の法制化並びに拡充強化に関する件	札幌市中央区南3条西7丁目 社会福祉法人北海道社会福祉 協議会 会長 今井 道雄	同	同
124	官公庁等による地元調達の拡充に関する件	函館市新川町28番15号 函館商工連盟 理事長 古谷 貞雄	商工労働	同
125	国民生活に必要な制度と地方財政への補助金・交付金削減・一括改悪をやめ、民主的な行財政改革によって福祉・教育・地方財政などの充実をもとめる件	札幌市中央区南9条西4丁目 北海道生活と健康を守る会連 合会 会長 館本 一豊	総 務	継続審査
126	憲法改変・新憲法制定決議に反対の件	札幌市中央区大通西1丁目 北光教会内 札幌キリスト教 女子青年会会長 竹村 泰子	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
64	郵便貯金の現行制度存続に関する件	札幌市中央区北2条西4丁目 全郵政北海道地方本部 執行委員長 川崎 義之	総 務	継続審査
65	「郵貯懇を見守ること」に関する件	札幌市中央区北1条西5丁目 社団法人 札幌銀行協会 会長 五味彰ほか7人	同	同
66	郵便貯金の現行制度存続に関する件	札幌市中央区北2条西2丁目 北海道地方特定郵便局長会 会長 熊谷 五郎	同	同

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審 査 の 結 果
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	総 務	採 択
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	厚 生	同
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件	同	同
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難病対策確立の件	同	同
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	同	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
38	精進川旧河川敷地の払い下げに関する件	建 設	採 択
45	北海道立養護老人ホーム静和園の廃止案撤回と新築・充実を求める件	厚 生	不 採 択
49	保育所幼児（３～５歳）に生牛乳給食実施のための道費補助に関する件	同	採 択
52	道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築、充実を求める件	同	不 採 択
71	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同	一部採択
73	同	建 設	採 択
109	公立小学校、中学校、高等学校、障害児学校の主任等に対する教育業務連絡指導手当（主任手当）の予算計上を行わず、児童・生徒の教育を保障する教育条件整備費用に充当することをもとめる件	文教林務	議決不要
111	農業改良普及事業の縮小に反対し、事業の拡充強化を求める件	農 務	採 択

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会	審査の結果
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件	厚 生	取 下 げ
31	根室馬鈴しょ原種農場存続の件	農 務	議決不要
55	道営住宅家賃の値上げに関する件	建 設	同
56	同	同	同
60	精神障害者の社会復帰に関する件	厚 生	採 択
61	道委託事業の直接契約に関する件	同	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	総 務
24	登別市に警察署設置の件	同
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同
100	指名競争入札の執行に関する件	同
115	樺太会館建設に関する件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
47	薬害スモン恒久対策に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	厚 生
53	道立精神薄弱者施設と光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充、強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに現在地での新築、拡充を要求する件	同
61	道立内部障害者更生指導所の美唄市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
75	国民健康保険に傷病手当、出産手当の実施を求める件	同
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	同
96	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	同
107	特別養護老人ホーム増設の件	同
108	季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善に関する件	商工労働
113	季節労働者の雇用確保と生活保障等に関する件	同
69	道営住宅の敷金還付に関する件	建 設
74	小樽市最上町線道路拡幅に関する件	同
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文教林務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通科高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	同
43	全日制普通課程公立高等学校新設に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求める件	同
103	留萌南部地区（留萌市・増毛町・小平町）高等学校普通科間口増設に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と、56年・57年「ヒノエウマ」の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	文教林務
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	同
68	合成洗剤追放に関する件	公害対策特別

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
19	道立和光学園の廃止反対の件	同
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	同
59	砂利採取法違反に係る処分に関する件	商工労働
29	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農 務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	同
13	同	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同

委員会の動き

議会運営委員会

○6月26日（金） 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午後4時9分散会

委員長 吉田 政一（自民）

① 議長及び副議長の選挙について、選挙の方法は投票により行うこととし、単記無記名とすること、立会人は各会派1名ずつ、計4名選出することに異議なく決定。立会人は、石山直行議員（自民）、保格博夫議員（社会）橋浪蔵議員（道政）、工藤啓二議員（公明）とすることに決定。なお、白票の扱いについては、従来どおり投票総数には算入することとし、有効投票には算入しないこととすることを了承。

② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定の後、再開後の議事順序について、あらためて協議することを了承し、午前9時45分休憩、午後2時25分再開。

▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

元議員の逝去報告

議員伊藤知則氏の逝去報告

日程第2 会期決定の件（6月25日から7月15日まで20日間）

日程第3 議長辞職の件

（採決）

1 願い出のとおり議長の辞職を許可することについて簡易採決

日程第4 議長の選挙

1 議場の出入口閉鎖

2 出席議員数の報告

3 立会人の指名

4 投票用紙の配付

5 投票箱の点検

6 投票用紙に氏名記載

7 議員氏名の点呼（登壇の上、

投票）

8 立会人所定席に着席

9 開票、立会人回付、投票点検

10 立会人自席に着席

11 選挙結果の報告

12 議場の出入口閉鎖

13 議長当選の告知

14 議長のあいさつ

日程第5 副議長辞職の件

（採決）

1 願い出のとおり副議長の辞職を許可することについて簡易採決

日程第6 副議長の選挙

（以下日程第4に準じ行う）

日程第7 議案第1号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号

提出議案に関する知事の説明

◎日程第7のうち議案第11号について先議することについて簡易採決

（議案第11号 北海道副知事定数特例）
（条例を廃止する条例案）

（総務委員会付託）

（休憩）

③ 委員長から、議案第11号の委員会審査状況について、審査終了した旨報告。

④ 再開後の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午後2時27分休憩、午後4時5分再開。

▽ 再開後の議事順序

（諸般の報告）

追加日程 議案第11号

総務副委員長の報告

（討論）

1 小田原要四蔵議員の議案第11号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1 本件を委員長報告（可決）のとおり決することについて起立により採決

（社会、無所属反対）

（休憩）

⑤ 総務部長から、北海道副知事定数特例条例を廃止する条例について公布手続きを完了した旨報告並びに追加提出議案について説明の

後、委員長から、議案第28号について、再開後の本会議において追加日程として上程し、知事の提案説明後、委員会付託を省略の上、議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。

- ⑥ 再開後の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 再開後の議事順序

(諸般の報告)

追加日程 議案第28号

追加提出議案に関する知事の説明

(議案第28号 北海道副知事の選任につき同意を求める件)

(委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり同意することについて起立により採決

(社会、共産、無所属反対)

日程第8 前会より継続審査の議案第41号

日程第9 請願第45号及び第52号

(日程第8及び日程第9を一括議題)

- 1 日程第9の請願第45号及び第52号の委員長報告を省略することについて簡易採決

- 2 日程第8の前会より継続審査の議案第41号に関する報告
厚生委員長の報告

(討論)

- 1 舟山広治議員の前会より継続審査の議案第41号並びに請願第45号及び第52号の審査結果の不採択に関する反対討論
- 2 高橋康之議員の前会より継続審査の議案第41号並びに請願第45号及び第52号の審査結果の不採択に関する賛成討論

(討論終結宣告)

(採決)

- 1 日程第8の前会より継続審査の議案第41号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決

(社会、公明、共産、無所属反対)

- 2 日程第9の請願第45号及び第52号を問題とし、請願審査報告書(いずれも不採択)のとおり決することについて起立により採決

(社会、公明、共産、無所属反対)

日程第10 意見案第1号

意見案第1号 適正炭価に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

議案調査のための休会日の決定

(6月27日から6月30日まで)

○7月1日(水) 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午前9時40分散会
委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、故伊藤知則議員に対する追悼演説について、本日の本会議において池島信吉議員(社会)が行う旨発言。
- ② 議席の一部変更について、配付の議席表のとおりとすることに異議なく決定。
- ③ 委員長から、各派役員異動届の提出及び役員名簿について報告。
- ④ 委員長から特別委員の辞任許可について、本日議長が許可することになっている旨報告。
- ⑤ 委員長から、常任委員、特別委員及び議会運営委員名簿について、各派から配付のとおり提出があった旨報告の後、本日の本会議において本名簿のとおり選任することをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 代表質問の通告(4人)について報告、2日2人、3日2人行うことに決定。なお、3日の一般質問の関係については、次期議運に引継ぐことを了承。
- ⑦ 苫小牧港管理組合 議会議員の選挙について、本日の本会議において行うこととし、選挙すべき議員数は5人、選挙の方法は指名推せんとし、議長において指名することに決定。各会派の配分について、各派会長会議において自民3人、社会及び道政各1名に決定の旨並びに各会派からそれぞれ推せんがあつ

た旨報告。

- ⑧ 委員長から、議会効率化小委員会の調査終了について報告の後、小委員会の審議結果について、小委員会決定のとおり本委員会として次期議運に引継ぎすることをはかり、異議なく決定。
- ⑨ 次期議運申し送り事項について、議会効率化小委員会において結論を得るに至らなかった事項は、別紙のとおり次期議運に申し送る扱いとすることに異議なく決定。
- ⑩ 議会運営に関する決定事項について、別紙配付の「議会運営に関する決定事項」を議事課長から説明の後、次期議運に引継ぎすることをはかり、異議なく決定。
- ⑪ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議席の一部変更の件(2人)
議員伊藤知則氏の逝去に対する
池島信吉議員の追悼演説
議員伊藤知則氏の逝去に対する
黙とう
(休憩)

日程第2 常任委員選任の件
(配付名簿のとおり指名選任)

日程第3 特別委員選任の件
(配付名簿のとおり指名選任)
議長の報告
(議会運営委員の指名報告)

日程第4 苫小牧港管理組合議会議員の選挙

(選挙すべき管理組合議会議員数5人)

- 1 選挙の方法は指名推せんによることについて簡易採決
- 2 指名の方法は議長において指名することについて簡易採決
(議長より指名)

○7月1日(水) 午後零時27分、議会運営委員会室において開議、午後零時35分散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

正副委員長の互選

① 水沼徳一郎臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてはかり、岩崎守男委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって、水沼徳一郎委員(自民)を委員長に選出。

② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、和田勝之委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって渋谷澄夫委員(社会)を副委員長に選出。

③ 議席について、現在着席のとおりとすることに異議なく決定。

④ 本委員会の運営について、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選出し、その協議により行うことに決定。なお、諸派のうち共産党についてはオブザーバーの扱いとすることとし、無所属についてはオブザーバーとして出席しないが議運決定事項は順守する旨申し出があった旨報告。理事には、和田勝之委員(自民)、水岡薫委員(自民)、岩崎守男委員(社会)、小田原要四蔵委員(社会)、木下一見委員(道政)及び工藤啓二委員(公明)をそれぞれ選出。

⑤ 今期定例会の日程について、別紙配付の前期議運決定のとおりとすることを了承。

⑥ 代表質問の通告(4人)について報告。進め方については前期議運決定のとおりとすることを了承。

⑦ 一般質問の順位並びに進め方について、明日協議することを了承。

⑧ 予算及び企業会計決算特別委員会の構成について、別紙配付の前期議運決定のとおりとすることを了承。予算特別委員会各分科会配分について、各派間において調整の上、決定することとし、調整結果を後日報告することを了承。

⑨ 委員長から、前期議運から引継ぎを受けた事項について、別紙配付のとおりである旨報告し、前期からの申し送り事項については、あらためて協議することを了承。

○7月2日(木) 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

① 意見案第2号及び第3号の取扱いについて、委員長から本日の本会議において議決する扱いとする旨述べた後、本間喜代人オブザーバー（共産）から意見案第3号に反対の旨意思表示があり、これを了承し、本日議決する扱いとすることに異議なく決定。

② 一般質問の通告（14人）について報告。順位については従来の例により取り進めることとし、個人別順位について議事課長説明のとおりとすることに異議なく決定。進め方については、3日2人、4日、7日及び8日各4人とするに決定。

③ 本日の本会議について、代表質問2人行うこととした。

④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時45分休憩、午後4時25分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 意見案第3号

意見案第3号 砂糖の価格安定等に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（討論）

1 本間喜代人議員の意見案第3号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1 本件を原案のとおり決することについて起立により採決（共産反対）

日程第2 意見案第2号

意見案第2号 昭和56年産生産者米価等に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第3 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号

質疑並びに一般質問（代表質問2人）

⑤ 岩崎守男委員（社会）から、休憩前の本会議における長岡寅雄議員（社会）の代表質問

に対する漁具被害の加害国に関する知事答弁について問題提起があり、総務部長から発言の後、委員長及び各委員から発言。委員長から、本日はこの程度でとどめることとし、本日の本会議は延会することををはかり、異議なく決定。

○7月3日（金） 午前10時18分、議会運営委員会室において開議、午後4時37分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

① 昨日の本委員会において岩崎守男委員（社会）から要請があった件について総務部長から、事実関係の確認になお時間を要する旨発言があって、午前10時19分休憩、午後4時35分再開。

② 総務部長から、昨日の本会議における長岡寅雄議員（社会）の代表質問に対する知事答弁に関し、知事から、補足訂正の発言を行いたい旨、併せて宇川源吉議員（自民）の代表質問に対する答弁について補足訂正したい旨申し出があり、本日の本会議において、許可することに異議なく決定。委員長から、理事者に対し議会対応について十分配慮するよう述べた後、本委員会の運営について、各委員の協力を願う旨発言があった。

③ 本日の本会議について、知事の補足訂正答弁を行い延会することををはかり、異議なく決定。

○7月4日（土） 午前9時33分、議会運営委員会室において開議、午後4時35分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

① 総務部長から、追加提出予定案件について説明。

② 一般質問の通告の取下げ及び変更申し出について了承。

③ 予算及び企業会計決算特別委員会について、委員名簿の提出は7日正午までとすること及び設置動議は社会党とすることを了承。

④ 本日の本会議について、代表質問3人、一般質問2人の計5人を予定とし、進行状況により協議の上、取り進めることを了承。

⑤ 議案調査のため、6日休会し、7日再開することに異議なく決定。

⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時38分休憩、午後4時32分再開。

▽ 議事順序
(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号
質疑並びに一般質問(代表質問3人、一般質問2人)

議案調査のための休会日の決定
(7月6日)

⑦ 休憩前の本会議における岩崎守男議員(社会)の議事進行発言の取扱いについて、総務部長から、知事の補足答弁を行いたい旨の発言があり、再開後の本会議は知事の補足答弁から入ることを了承。

⑧ 本日の本会議の進め方について、長岡寅雄議員(社会)の質問終了後、延会することをはかり、異議なく決定。

○7月7日(火) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時39分散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

① 総務部長から、追加提出議案について説明の後、本日の本会議において知事の提案説明を行うことをはかり、異議なく決定。

② 一般質問の通告内容の変更申し出について了承。

③ 本日の本会議について、代表質問2人、一般質問3人の計5人を予定とし、進行状況により協議の上、取り進めることを了承。

④ 中央折衝のため、農務委員2人の上京について了承。

⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序
(諸般の報告)

日程第1 報告第49号ないし第55号
追加提出議案に関する知事の説明

(日程第1の報告第49号ないし第55号)
にあわせ

日程第2 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号
質疑並びに一般質問(代表質問2人、一般質問3人)

○7月8日(水) 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後4時47分散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

① 一般質問の今後の進め方について、8日5人、9日4人、10日3人の日程で取り進めることに決定。

② 本日の本会議は、一般質問5人行うことを了承。

③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時38分休憩、午後4時45分再開。

▽ 議事順序
(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号
質疑並びに一般質問(5人)

④ 休憩前の本会議における榎林巖議員(社会)の再質問に対する知事の答弁準備の状況について、総務部長から、事実確認になお時間を要する旨発言があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会とすることをはかり、異議なく決定。

○7月9日(木) 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後1時37分散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

① 昨日の本会議における榎林巖議員(社会)の再質問に対する答弁準備の状況について、総務部長から、準備できた旨発言があって、本日の本会議は、榎林議員の再質問に対する知事の答弁から入ることに異議なく決定。

② 一般質問の順番変更申し出について了承。

- ③ 本日の本会議について、一般質問7人であるが、進行状況により協議の上、取り進めることを了承。
- ④ 永澤副知事の明日の本会議欠席について了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号
質疑並びに一般質問(7人)

- ⑥ 和田勝之委員(自民)から、理事者及び各派に対し、審議の促進方協力願いたい旨発言の後、委員長から審議促進方協力要請があって、午前9時42分休憩、午後1時28分再開。
- ⑦ 本間喜代人オブザーバー(共産)から、審議促進に関する理事者側の対応について発言並びに委員長に対し副知事の議運出席を求め、注意されたい旨措置要請があって、委員長から応答。本件に関し、各委員から意見の後、委員長から正副委員長より副知事に対し指摘内容を申し入れる扱いとすることををはかり、異議なく了承。

○7月10日(金) 午前9時36分、議会運営委員会室において開議、午前9時41分散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 一般質問の通告内容の変更申し出について了承。
- ② 一般質問の今後の進め方について、本日4人、明日3人の日程で取り進めることに異議なく決定。
- ③ 本日の本会議は、一般質問4人行うことを了承。
- ④ 総務部長から、7月5日から6日における大雨災害に関し、明日の本会議において知事から災害報告を行いたい旨申し出があり、申し出のとおりとすることに異議なく決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号
質疑並びに一般質問(4人)

○7月11日(土) 午前9時36分、議会運営委員会室において開議、午前9時45分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、昨日の本会議における発言の一部について、吉野之雄議員(社会)から訂正の申し出があった旨報告の後、本日の本会議において申し出のとおり訂正する扱いとすることををはかり、異議なく決定。
- ② 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について、伊藤知則議員(自民)の逝去並びに中田繁夫議員(社会)の管理組合議会議員の辞職に伴い、本日の本会議において補欠選挙を行うこと、選挙の方法は指名推せんとし、議長において指名することををはかり、異議なく決定。補欠議員については、各派会長会議の決定により自民党から宇野真平議員、社会党から星野健三議員の推せんがあった旨報告。
- ③ 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙について、宇野真平議員(自民)及び池島信吉議員(社会)の企業団議会議員辞職に伴い、本日の本会議において補欠選挙を行うこと、選挙の方法は指名推せんとし、議長において指名することををはかり、異議なく決定。補欠議員については、各派会長会議の決定により自民党から高木繁光議員、社会党から関根建二議員の推せんがあった旨報告。
- ④ 本日の一般質問について、3人行うことを了承。
- ⑤ 予算特別委員会各分科委員の配分について、各派間調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。
- ⑥ 予算及び企業会計決算特別委員会について、委員の選任は配付の名簿のとおり本日の本会議において選任すること、設置動議は、

小田原要四蔵議員（社会）に提出願うことを了承。

- ⑦ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑧ 各委員会付託議案審査のため、13日及び14日休会し、15日再開することをはかり、異議なく決定。
- ⑨ 委員長から、前期議運からの申し送り事項等の取扱いについて、昨日の理事会決定のとおり今後の理事会で検討する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑩ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

- (1) 議長の発言（発言訂正申し出）
- (2) 昭和56年7月5日から6日にかけての低気圧と前線による日高地方を中心とした大雨災害に関する知事の報告

日程第1 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙

（選挙すべき管理組合議会議員の補欠）
人数2人

- 1 選挙の方法は指名推せんによることについて簡易採決
- 2 指名の方法は議長において指名することについて簡易採決
（議長より指名）

日程第2 石狩東部広域水道企業団議会議員の補欠選挙

（選挙すべき企業団議会議員の補欠）
人数2人

- 1 選挙の方法は指名推せんによることについて簡易採決
- 2 指名の方法は議長において指名することについて簡易採決
（議長より指名）

日程第3 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号、報告第1号ないし第24号及び第49号ないし第55号

質疑並びに一般質問（3人）

（質疑終結宣告）

○予算及び企業会計決算特別委員会設置

○予算及び企業会計決算特別委員選任

○議案の各委員会付託

各委員会付託議案審査のため休会の決定
（7月13日、14日）

○7月15日（水） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午後4時3分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告。午前9時36分休憩、午後3時56分再開。
- ② 予算特別委員長から、付託議案の審議状況について、委員長から、各常任委員会等付託案件の審議状況について、それぞれ報告。
- ③ 会期について、7月16日まで1日間延長することに異議なく決定。
- ④ 委員長から、予算特別委員会並びに各委員会審議について、明日議了を日途に取り進め願いたい旨各派に協力要請があった。
- ⑤ 本日の本会議は、別紙配付の審査結果報告のあった請願、陳情を議決の後、7月16日まで1日間の会期延長を議決し、散会することに異議なく決定。

○7月16日（木） 午後2時30分、議会運営委員会室において開議、午後6時59分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、本日の本会議は取りあえず時間延長することをはかり、異議なく決定。午後2時31分休憩、午後6時50分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について報告の後、企業会計決算特別委員会において審査中の報告第49号ないし第55号及び決算特別委員会において審査中の前会より継続審査の報告第2号について、本日の委員会において継続審査の扱いとすることに決定した旨報告。
- ③ 総務部長から、追加提出案件について説明の後、議案第29号ないし第31号の人事案件等について、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。

④ 意見案第4号ないし第11号の取扱いについて、本日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。

⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第10号、第12号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号
予算特別、総務、厚生、商工労働、農務、建設及び文教林務各委員長報告

(討論)

1 本間喜代人議員の議案第5号、第6号、第8号、第14号、第15号及び第23号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1 議案第23号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決

(社会、公明、共産、無所属反対)

2 議案第4号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立により採決

(社会、無所属反対)

3 議案第5号、第6号、第8号、第14号及び第15号を問題とし、委員長報告(すべて可決)のとおり決することについて起立により採決 (共産反対)

4 議案第1号ないし第3号、第7号、第9号、第10号、第12号、第13号、第16号ないし第22号、第24号ないし第27号及び報告第1号ないし第24号と問題とし、委員長報告(議案はすべて可決、報告はすべて承認議決)のとおり決することについて簡易採決

日程第2 議案第29号ないし第31号

追加提出議案に関する知事の説明

(委員会付託省略)

(討論)

1 本間喜代人議員の議案第30号に関する

反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1 議案第29号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて起立により採決 (共産反対)

2 議案第30号のうち、

(1) 樫原匡幸君の北海道監査委員選任につき同意を求める件を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて起立により採決 (共産反対)

(2) 村上彝明君の北海道監査委員選任につき同意を求める件を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

3 議案第31号を問題とし、本件を原案のとおり決することについて起立により採決 (共産反対)

議案第29号	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件
議案第30号	北海道監査委員の選任につき同意を求める件
議案第31号	特別職職員の退職手当の額を定める件

日程第3 意見案第9号及び第10号

意見案第9号 道路整備特定財源の確保に関する要望意見書

意見案第10号 テクノポリス建設に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(討論)

1 本間喜代人議員の意見案第10号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1 本件をいずれも原案のとおり決することについて起立により採決

(共産反対)

日程第4 意見案第4号ないし第8号及び第11号

意見案第4号 市町村社会福祉協議会の法制化に関する要望

意見書

意見案第5号 医療ソーシャル
ワーカーの制度化に関する要
望意見書

意見案第6号 日米合同訓練に
伴う被害補償等に関する要望
意見書

意見案第7号 大雨災害対策に
関する要望意見書

意見案第8号 郵便貯金の現行
制度に関する要望意見書

意見案第11号 非核三原則の堅
持等に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも原案のとおり決する
ことについて簡易採決

日程第5 請願審査の件(採択3件)

(委員長報告省略)

(採決)

- 1 本件をいずれも請願審査報告書(採
択)のとおり決することについて簡易
採決

○閉会中継続審査の件

企業会計決算特別委員長から報告第49
号ないし第55号について、決算特別委員
長から前会より継続審査中の報告第2号
について、申し出のとおり閉会中継続審
査に付することについて簡易採決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査
の件

各常任委員長並びに公害対策特別委員
長から申し出のとおり閉会中継続審査ま
たは調査に付することについて簡易採決
(議長の閉会あいさつ)

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○6月26日(金) 午後1時10分、第5委員会室
において開議、午後2時18分
散会、委員長事故のため、
副委員長 舟山広治(社会)

付託案件の審査

○議案第11号(北海道副知事定数特例条例を廃
止する条例案)を議題とし、総務部長から説
明の後、

小田原要四蔵委員(社会)から、特例条例
の廃止に関し、廃止の検討内容、本条例制定
時と今日の事情の相違、2人から3人に増員
する理由及び増員した場合の事務分担と順
位、三上副知事の退任との関係、事実行為を
制度改正より先行したことに対する考え方に
ついて

(関連して、中田繁夫委員(社会)から、3
人制に増員する考え方について)

質疑があり、総務部長から答弁の後、質疑を
終結し、採決に入り、挙手採決の結果、挙手
多数(社会反対)をもって原案のとおり可決
することに決定。小田原要四蔵委員(社会)
から、少数意見を留保する旨発言。付託案件
に対する委員長報告については、委員長に一
任することとした。

○7月1日(水) 午前11時20分、第5委員会室
において開議、午前11時35分
散会
委員長 青山 正男(自民)

正副委員長の互選

- ① 高橋賢一臨時委員長(自民)から、委員長
互選の方法についてはかり、岩崎 守男 委員
(社会)の動議により指名推選の方法をもっ
て、青山正男委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法について
はかり、中崎昭一委員(自民)の動議により
指名推選の方法をもって、樫林巖委員(社会)
を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、中崎昭一委員（自民）、岩崎守男委員（社会）、橋浪蔵委員（道政）、高橋鉦委員（公明）をそれぞれ選出。

○7月4日（土） 午後零時58分、第5委員会室
において開議、午後1時散会
委員長 青山 正男（自民）

一般議事

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
② 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月16日（木） 午後5時16分、第5委員会室
において開議、午後5時44分
散会
委員長 青山 正男（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第2号（北海道恩給条例等の一部を改正する条例案）、議案第3号（北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例案）、議案第5号（農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第6号（過疎地域における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案）、議案第10号（警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例案）、議案第12号及び議案第13号（工事請負契約の締結に関する件）を順次議題とし、総務部長及び警察本部総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
② 議案第4号（北海道税条例の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって、原案のとおり可決することに決定。
③ 議案第23号（財産の取得に関する件）を議題とし、開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、公明反対）をもって、原案のとおり可決するこ

とに決定。

- ④ 報告第1号ないし第4号及び報告第24号（専決処分報告につき承認を求める件）を順次議題とし、総務部長及び警察本部総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
② 委員長から、日高地方の大雨災害による被害状況に関し、各常任委員会の正副委員長による現地調査の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
③ 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
④ 委員長から、郵便貯金の現行制度に関する要望意見案及び非核三原則の堅持等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
⑤ 生活環境部長から、昭和55年度北海道民生活安定条例施行状況について報告。
⑥ 総務部長から、日高地方の大雨災害状況について報告。

○7月17日（金） 午前11時7分、第5委員会室
において開議、午後零時8分
散会
委員長 青山 正男（自民）

一般議事

- ① 委員長から、地方行財政状況及び地域交通事情に関する道内調査の実施についてはかり異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長、副出納長、人事委員会事務局長、監査委員事務局長及び警察本部総務部長から、所管事務の概要についてそれぞれ説明。
③ 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長

から、昭和57年度北海道開発予算要望事項について説明。

- ④ 警察本部総務部長から、警察官の殉職について報告。
- ⑤ 山家勇委員（社会）から、国鉄石勝線の開業に関し、根室本線のローカル化による利用住民への影響と対処策、滝里ダムの完成による根室本線の水没部分のつけかえ等についての国鉄との協議状況について質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

厚生委員会

○7月1日（水） 午前11時18分、第9委員会室において開議、午前11時27分散会
委員長 石山 直行（自民）

正副委員長の互選

- ① 小沢栄吉臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、関根建二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって石山直行委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、伊藤弘委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって伊藤武一委員（公明）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午前11時22分休憩、午前11時24分再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会及び道政各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、伊藤弘委員（自民）、関根建二委員（社会）、高田忠雄委員（道政）をそれぞれ選出。共産党については、オブザーバーの扱いとすることとした。

○7月16日（木） 午後5時3分、第9委員会室において開議、午後5時13分散会
委員長 石山 直行（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第7号（北海道身体障害者総合更生援

護施設条例の一部を改正する条例案）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第14号（工事請負契約の締結に関する件）を議題とし、衛生部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第22号（財産の取得に関する件）を議題とし、民生部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願・陳情の審査

請 願

第122号 「医療ソーシャルワーカー」の資格の制度化促進に関する件
(採択)

第123号 市町村社会福祉協議会の法制化並びに拡充強化に関する件
(採択)

残余の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
- ③ 委員長から、医療ソーシャルワーカーの資格の制度化及び市町村社会福祉協議会の法制化に関する要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月17日（金） 午前11時10分、第9委員会室において開議、午後零時10分散会
委員長 石山 直行（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、市町村社会福祉協議会の法制

化及び医療ソーシャルワーカーの制度化に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ② 民生部長及び衛生部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 民生部長及び衛生部長から、昭和57年度北海道開発関係重点要望事項について説明。
- ④ 川崎守委員（共産）から、ベビーホテルの解消策に関し、ベビーホテルの出現と認可保育所のあり方についての考え、認可保育所の保育時間の延長とこれに伴う保母及び措置費の問題に対する考え、乳児保育の拡大、第2次臨調報告における保育所数抑制の問題、無認可保育所に対する指導援助について質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

商 工 労 働 委 員 会

○7月1日（水） 午前11時17分、第8委員会室
において開議、午前11時30分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

正副委員長の互選

- ① 塚本肇臨時委員長（社会）から、委員長互選の方法については、高橋康之委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって藤井虎雄委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、輪島幸雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって岩田徳弥委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午前11時26分休憩、午前11時28分再開、本委員会の運営に当たっては、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選びその協議によりこれを行うこととは、異議なく決定。理事には、高橋康之委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）、湯田倉治委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

○7月16日（木） 午後5時4分、第8委員会室

において開議、午後5時15分
散会

委員長 藤井 虎雄（社会）

付託案件の審査

- ① 議案第8号（北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案）を議題とし、商工観光部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第21号（財産の取得に関する件）を議題とし、労働部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願・陳情の審査

請 願

第124号 官公庁等による地元調達の拡充
に関する件 （採択）

残余の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをは、異議なく決定。

一 般 議 事

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
- ③ 委員長から、テクノポリス建設に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをは、異議なく決定。
- ④ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをは、異議なく決定。

○7月17日（金） 午前11時18分、第8委員会室
において開議、午後零時26分
散会
委員長 藤井 虎雄（社会）

一 般 議 事

- ① 商工観光部長、労働部長、企業局長及び地
労委事務局長から、所管事務の概要について

それぞれ説明。

- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、昭和57年度北海道開発関係予算要望の概要について説明の後、

湯田倉治委員（道政）から、観光レクリエーション地区（中規模）整備促進事業の地区選定方法と決定の仕方について

質疑があり、商工観光部長から答弁。

- ③ 小田原要四蔵委員（社会）から、釧路商工会議所と大型店に係る金品授受問題に関し、商調協委員からイトーヨーカ堂への返還に係る道の指導の立場と調査内容及び返還の確認方法、商工会議所の政治活動についての事実関係及び商工会議所法との関連における見解、大型店から商工会議所幹部への多額資金の受渡しについて事実関係と調査の考え及び通産局への対応、商工会議所及び大型店進出に係る商調協に対する指導監督責任について（関連して、湯田倉治委員（道政）から、多額金授受問題についての調査権限と調査内容及び道の慎重な対処方について）質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。

農 務 委 員 会

- 7月1日（水） 午前11時、第7委員会室において開議、午前11時32分散会
委員長 若狭 靖（自民）

正副委員長の互選

- ① 田刈子政太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、神本三也委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって若狭靖委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、川口常人委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって吉野之雄委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等についての協議のため午前11時20分休憩、午前11時22分再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、川口常人委員（自民）、神

本三也委員（社会）、石川十四夫委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

一 般 議 事

- ① 委員長から、昭和56年産生産者米価等及び砂糖の価格安定等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、昭和56年産生産者米価等及び砂糖の価格安定等に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- 7月16日（木） 午後4時55分、第7委員会室において開議、午後5時10分散会
委員長 若狭 靖（自民）

付託案件の審査

- 議案第9号（北海道農産物検査条例の一部を改正する条例案）を議題とし、農務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、日高地方における大雨災害の発生に伴い関係常任正副委員長会議が開催され現地調査を行うことに決定した旨及び本委員会から青山章委員（自民）が参加した旨報告の後、現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
- ④ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 7月17日（金） 午前11時34分、第7委員会室において開議、午後零時56分散会
委員長 若狭 靖（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和56年産生産者米価等及び砂糖の価格安定等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、所管事務の概要及び昭和57年度 農業関係 国費予算要望事項について説明。
- ③ 農務部長から、日高地方を中心とした大雨被害状況等について説明の後、
岡本栄太郎委員（社会）から、被害対策について
質疑があり、農務部長から答弁。
- ④ 岡本栄太郎委員（社会）から、新聞報道における大蔵大臣の北海道米批判発言に対する見解と道の対応について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁の後、岡本栄太郎委員（社会）から、本件に関し副知事の当委員会出席を求める旨の発言があり、午後零時12分休憩、午後零時43分再開。委員長から休憩中の理事会 協議の結果、副知事出席は見合わせることにした旨報告。委員長から副知事に対して何らかの処置をとるよう申し入れる旨発言。
- ⑤ 渋谷澄夫委員（社会）から、現在製造販売中止の農薬「ホスベル」の自然発火事件に関し、回収を含めた立入検査、指導の徹底について
質疑及び要望があり、農務部長から答弁。

建 設 委 員 会

〇7月1日（水） 午前11時18分、第4委員会室
において開議、午前11時30分
散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

正副委員長の互選

- ① 杉本栄一臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、萩上元春委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって笹浪幸男委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、萩上元春委員（自民）の動議により

指名推選の方法をもって中川隆之委員（道政）を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午前11時24分休憩、午前11時25分再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、野村権作委員（自民）、萩上元春委員（社会）、勝木省三委員（道政）及び浅野俊一委員（公明）をそれぞれ選出。

〇7月16日（木） 午後5時10分、第4委員会室
において開議、午後5時29分
散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

付託案件の審査

- ① 議案第15号ないし第19号（工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第20号（工事請負契約の変更に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、
鈴木誠二委員（社会）から、設計変更の理由、現在の技術水準からみた設計変更の妥当性及び設計変更に対する十分な配慮方について
質疑及び要望があり、土木部長から答弁があって、原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第24号（財産の取得に関する件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
- ③ 委員長から、道路整備特定財源の確保に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、さきに実施した関係常任委員会代表による日高地方の大雨災害現地調査の

概要について報告書により報告の後、大雨災害対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

- ⑤ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月17日（金） 午前10時37分、第4委員会室において開議、午前11時8分散会
委員長 笹浪 幸男（自民）

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、所管事務の概要について説明。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和57年度北海道開発関係予算の概要について説明。
- ③ 委員長から、道路整備特定財源の確保に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、道内における建設事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

農地開発委員会

○7月1日（水） 午前11時14分、第3委員会室において開議、午前11時30分散会
委員長 伊藤 豪（道政）

正副委員長の互選

- ① 作田政次臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、佐々木行雄委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって伊藤豪委員（道政）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、青木延男委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって佐藤静雄委員（自民）を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午前11時19分休憩、午前11時20分再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会、及び道政各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、佐々木行雄委員（自民）、青木延男委員（社会）、木下一見委員（道政）をそれぞれ選出。無所属については、オブザーバーの扱いとすることとした。

○7月16日（木） 午後5時7分、第3委員会室において開議、午後5時12分散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、日高地方における大雨災害の発生に伴い関係常任正副委員長会議が開催され、現地調査を行うことに決定した旨及び本委員会から土屋良三委員（自民）及び池島信吉委員（社会）が参加した旨報告の後、現地調査の概要について報告書により報告。
- ⑤ 委員長から、大雨災害対策に関する要望意見案について、関係委員会所属議員の発議により配付のとおり提出する旨発言があり、異議なく決定。

○7月17日（金） 午前10時23分、第3委員会室において開議、午前11時4分散会
委員長 伊藤 豪（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、所管事務の概要及び昭和57年度農業基盤整備関係国費予算要望事項についてそれぞれ説明。
- ② 農地開発部長から、日高地方を中心とした大雨による農地及び農業用施設災害状況等に

について説明の後、

大平秀雄委員（自民）から、頭首工の災害復旧工事の早期着工

池島信吉委員（社会）から、災害の実態調査等現地の調査体制の整備、応急措置の早期実施

土屋良三委員（自民）から、弾力的な予算等の運用について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

- ③ 委員長から、昭和57年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

水 産 委 員 会

○7月1日（水） 午前11時20分、第6委員会室
において開議、午前11時28分
散会

委員長 新沼 浩（自民）

正副委員長の互選

- ① 佐々木豊臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、長岡 寅雄 委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって新沼浩委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、小田部善治委員（道政）の動議により指名推選の方法をもって桜井外治委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午前11時26分休憩、午前11時27分再開。本委員会の運営に当たっては自民、社会及び道政各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、松本勇委員（自民）、長岡寅雄委員（社会）及び小田部善治委員（道政）をそれぞれ選出。

○7月16日（木） 午後4時55分、第6委員会室
において開議、午後5時散会
委員長 新沼 浩（自民）

一 般 議 事

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。

- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。

- ③ 委員長から、日米合同訓練に伴う被害補償等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

- ④ 委員長から、日米合同訓練に伴う被害補償等に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ⑤ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- ⑥ 委員長から、日高地方大雨災害に関する関係委員会合同現地調査に原清重委員（社会）が参加した旨並びに別紙報告書が提出されている旨を報告。

○7月17日（金） 午前10時35分、第6委員会室
において開議、午前10時47分
散会

委員長 新沼 浩（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、所管事務の概要並びに昭和57年度水産関係北海道開発予算について説明。
- ② 委員長から、昭和57年度水産関係北海道開発予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

文 教 林 務 委 員 会

○7月1日（水） 午前11時18分、第10委員会室
において開議、午前11時35分
散会

委員長 中田 繁夫（社会）

正副委員長の互選

- ① 宮本義勝臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、吉川 貴盛委員

(自民)の動議により指名推選の方法をもって中田繁夫委員(社会)を委員長に選出。

- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、米村邦敏委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって佐々木利昭委員(自民)を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午前11時28分休憩、午前11時30再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会及び道政各1名、計3名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、吉川貴盛委員(自民)、米村邦敏委員(社会)及び小野秀夫委員(道政)をそれぞれ選出。共産党については、オブザーバーの扱いとすることとした。

○7月16日(木) 午後5時15分、第10委員会室において開議、午後5時35分散会
委員長 中田 繁夫(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第25号ないし第27号(財産の取得に関する件)を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 報告第5号ないし第23号(専決処分報告につき承認を求める件)を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり事務引継を受けた旨報告。
- ③ 委員長から、さきに実施した関係常任委員会代表による日高地方大雨災害の現地調査の概要について報告書により報告の後、大雨災害対策に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ④ 委員長から、付託の請願、陳情について、

今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月17日(金) 午前11時25分、第10委員会室において開議、午後1時20分散会
委員長 中田 繁夫(社会)

一般議事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、所管事務の概要について説明。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和57年度北海道開発関係予算について説明。
- ③ 委員長から、昭和57年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 教育長から、北海道立水産高等学校漁業実習船「若竹丸」の火災事故の概要について報告の後、

米村邦敏委員(社会)から、安全対策についてのこれまでの取り組みと今後の対処策、実習船の定期整備点検の実態、火災原因の究明、生徒の実習授業の対応策、実習船の耐用年数、航海実習について水産庁との関連実習の年間計画

小笠原孝委員(自民)から、実習船の更新に対する考え方

本間喜代人委員(共産)から、過去に発生した本船事故の原因及び今回の火災事故と過去の事故との関連性の調査について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

- ⑤ 熊谷克治委員(社会)から、女子教員養成所に関し、募集の停止及び将来廃校する理由、教育長期総合計画との関連における養護教諭の養成と配置に対する考え方、廃校についての慎重な検討

小野秀夫委員(道政)から、胆振第1学区における高等学校新設に関し、入学者選抜に関する改善案でこの学区を分割しなかった理由、室蘭及び伊達地区における募集人員と受験者の将来推計、新設校の建設候補地及び建設地決定の時期等

本間喜代人委員（共産）から、私立幼稚園の定員超過に対する見解と点検、指導の強化、公立幼稚園設置について道の発展計画と教育長期総合計画後期実施計画との整合性について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○7月1日（水） 午後零時10分、第1委員会室
において開議、午後零時21分
散会

委員長 吉田 政一（自民）

正副委員長の互選

- ① 阿部恵三男臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、檜林 巖委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって吉田政一委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、古川靖晃委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって萩上元春委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時15分休憩、午後零時16分再開。本委員会の運営に当たっては自民、社会各2名、道政、公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、古川靖晃委員（自民）、木本由孝委員（自民）、檜林巖委員（社会）、神本三也委員（社会）、小田部善治委員（道政）、高橋鉦委員（公明）を選出。共産党については、オブザーバーの扱いとすることとした。

○7月17日（金） 午後1時57分、第1委員会室
において開議、午後2時12分
散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、議席についてはかり、配付の議席表のとおりとすることに異議なく決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり引継を受けた旨報告。
- ③ 開発調整部長から、所管事務の概要について説明。
- ④ 開発調整部長から、昭和57年度北海道開発関係予算に関する要望事項等について説明の後、

川崎守委員（共産）から、明年度の公共事業の伸び率ゼロ予想による本道労働者の雇用

状態、本道への補助特例措置についての国の動き、補助率の引下げに伴う道及び市町村に与える影響と対処方について

質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

- ⑤ 委員長から、昭和57年度北海道開発関係予算に関する中央折衝及び道内の開発事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

石炭対策特別委員会

○7月1日(水) 午後零時5分、第11委員会室において開議、午後零時15分散会

委員長 宇川 源吉(自民)

正副委員長の互選

- ① 高橋正四郎臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法については、岩崎守男委員長(社会)の動議により指名推選の方法をもって宇川源吉委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、土屋良三委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって長岡寅雄委員(社会)を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後零時10分休憩、午後零時13分再開。本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをは、異議なく決定。理事には、土屋良三委員(自民)、中川義雄委員(自民)、岩崎守男委員(社会)、藤井虎雄委員(社会)、湯田倉治委員(道政)、伊藤武一委員(公明)をそれぞれ選出。

○7月17日(金) 午後1時20分、第11委員会室において開議、午後2時7分散会

委員長 宇川 源吉(自民)

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、さきに実施した適正炭価に関

する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ③ 委員長から、新石炭政策確立に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ④ 商工観光部長及び労働部長から、所管事務の概要について説明。
- ⑤ 商工観光部長及び労働部長から、昭和57年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。
- ⑥ 石川十四夫委員(道政)から、共産党炭鉱調査団の北炭夕張新鉱保安体制問題に関する新聞報道に関し、ガス警報中の作業等の事実、関係機関に対する改善策の申し入れの有無、災害確定状況、道の事実確認とその経過
工藤万砂美委員(自民)から、炭鉱のイメージに係るマスコミ対策
湯田倉治委員(道政)から、ガス警報中の作業の有無の詳細な報告について
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。
- ⑦ 藤井虎雄委員(社会)から、北電の電気料金値上げに関する説明に関し、石炭価格のアップ内訳、内陸炭価格、油と石炭価格差、厚真発電所使用の外国炭の価格について
意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。
- ⑧ 湯田倉治委員(道政)から、石炭灰の利用促進に対する取り組みについて要望があった。

北方領土対策特別委員会

○7月1日(水) 午前11時57分、第3委員会室において開議、午後零時5分散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

正副委員長の互選

- ① 小沢栄吉臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法については、小田原要四蔵委員(社会)の動議により指名推選の方法をもって小沢栄吉委員(自民)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法について

はかり、青山章委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって米村邦敏委員（社会）を副委員長に選出。

- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後零時2分休憩、午後零時3分再開。本委員会の運営に当たっては、自民、社会、道政、公明各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、青山章委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、高田忠雄委員（道政）、工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。

○7月17日（金） 午後1時37分、第3委員会室において開議、午後2時10分散会

委員長 小沢 栄吉（自民）

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり引継を受けた旨報告。
- ③ 領対本部長及び水産部次長から、所管事務の概要について説明。
- ④ 領対本部長から、北方領土返還要求強調月間の実施について報告。
- ⑤ 領対本部長から、衆議院沖縄及び北方領土問題に関する特別委員会の北方領土視察について報告の後、委員長から、本件に関し本委員会から委員を派遣することについてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑥ 領対本部長から、昭和57年度領対本部関係北海道開発関係予算に関する要望事項について説明の後、委員長から、本件に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ⑦ 小田原要四蔵委員（社会）から、固有の領土の範囲に対する道の見解について質疑及び意見があり、領対本部長から答弁。

公害対策特別委員会

○7月1日（水） 午後零時2分、第2委員会室において開議、午後零時8分散会

委員長 高木 繁光（自民）

正副委員長の互選

- ① 田莉子政太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、関根建二委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって高木繁光委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、佐藤静雄委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって輪島幸雄委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後零時5分休憩、午後零時6分再開。本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、佐藤静雄委員（自民）、山口真人委員（自民）、関根建二委員（社会）、吉野之雄委員（社会）、勝木省三委員（道政）、柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

○7月16日（木） 午後5時51分、第2委員会室において開議、午後5時57分散会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 議席についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う引継事項について、配付のとおり引継を受けた旨報告。
- ③ 委員長から、付託の請願について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 生活環境部長から、昭和56年公害の状況等に関する年次報告について説明。

○7月17日（金） 午後1時35分、第2委員会室において開議、午後2時30分散会

委員長 高木 繁光（自民）

- ① 生活環境部長から、所管事務の概要について説明。
- ② 生活環境部長から、昭和57年度公害関係北海道開発予算要望事項について説明。
- ③ 生活環境部長から、苫東厚真発電所2号機の建設に伴う公害防止協定の改定について説明の後、
関根建二委員（社会）から、1号機に係る現協定の計画値の的確性、改定計画値の妥当性、評価書計画値の早期検討等について質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。
- ④ 生活環境部長から、環境影響評価条例の施行状況並びに苫小牧海域及び関連河川に係る環境基準の水域類型指定について説明。
- ⑤ 委員長から、道内及び道外調査の実施については異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ⑥ 岡本栄太郎委員（社会）から、55年公害の状況等に関する年次報告書に関し、道道静内中札内線の環境影響評価を取扱っていない理由について
質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。

予 算 特 別 委 員 会

○7月11日（土） 午後4時13分、第1委員会室
において開議、午後4時23分
散会
委員長 山家 勇（社会）

正副委員長の互選

- ① 田刈子政太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については異議なく、佐藤静雄委員（自民）の動議により指名推薦の方法をもって山家勇委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については異議なく、吉野之雄委員（社会）の動議により指名推薦の方法をもって佐々木利昭委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後4時18分休憩、午後4時19分再開。休憩中協議の結果、まず、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置して質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、

所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は、委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。

- ④ 各分科会の委員の選任については異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

○第1分科委員（15人）

伊藤 弘（自民）	桜井 外治（自民）
勝木 省三（道政）	関根 建二（社会）
萩上 元春（社会）	吉野 之雄（社会）
工藤 啓二（公明）	川崎 守（共産）
岡本栄太郎（社会）	石山 直行（自民）
新沼 浩（自民）	古川 靖晃（自民）
工藤万砂美（自民）	藤井 猛（自民）
田刈子政太郎（自民）	

○第2分科委員（15人）

神本 三也（社会）	佐々木行雄（自民）
木下 一見（道政）	中川 隆之（道政）
中川 義雄（自民）	山口 眞人（自民）
伊藤 武一（公明）	輪島 幸雄（社会）
渋谷 澄夫（社会）	佐々木利昭（自民）
佐藤 静雄（自民）	寺崎 政朝（自民）
小笠原 孝（自民）	吉田 政一（自民）
滝沢 勉（自民）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程については異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法について通告の形式により、一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の取り扱いについてははかり、異議なく決定。

り、議員から発言の申し出があった場合その都度委員会にはかり決定すること及び発言は委員の通告質疑の終了後これを許可することについてはかり、異議なく決定。

- ⑨ 本委員会の運営について正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することについてはかり、異議なく決定。

第 1 分 科 会

○7月11日（土） 午後4時25分、第1委員会室
において開議、午後4時35分
散会

第1分科委員長

吉野 之雄（社会）

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に吉野之雄委員（社会）、分科副委員長に桜井外治委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名計4名の理事を選び、その協議により行うこと及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、伊藤弘委員（自民）、萩上元春委員（社会）、勝木省三委員（道政）、工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月13日（月） 午前11時5分、第1委員会室
において開議、午後5時8分
散会

第1分科委員長

吉野 之雄（社会）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

- (1) 凶悪犯罪に関し、道内における凶悪事件の発生状況と検挙状況、凶悪事件に対する

取り組み状況、捜査の困難性と対処策、未解決事件に対する現状と見通し

- (2) 通り魔事件等の防犯、捜査体制に関し、通り魔事件の発生要因、都市における防犯体制のあり方、高層住宅における防犯上の配慮の必要性、犯罪の低年齢化傾向の要因等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、刑事部長及び防犯部長から答弁があって公安委員会及び企業局所管に対する質疑を終結。

- ② 民生部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

- (1) 社会福祉法人の認可に関し、55年度の申請及び認可件数、法人の設立段階における指導のあり方と資産状況・役員についての道のチェック体制
- (2) 社会福祉法人の指導に関し、法人に対する監査実績、監査結果に基づく文書指示の内容と改善状況、民間福祉施設における労働条件の把握状況と勤続年数が短い理由、労働条件の改善に対する指導の考え方
- (3) ベビーホテルに関し、ベビーホテルの実態調査の結果と問題点、児童福祉法の改正に伴う対策とベビーホテルの指導基準に適合させるための改善指導の考え方、認可保育所の時間延長に係る道の予算措置と条件整備、今後の無認可保育所の取扱いの考え方
- (4) 障害者対策に関し、公共施設における階段・トイレ等の改善状況と行政指導、障害者用住宅の建設計画、障害者年の行動計画の策定状況

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 社会福祉法人根室隣保院の運営に関し、理事長の別法人役員との兼務の妥当性、法人職員の東京常駐の理由と給与支出のあり方、基本財産の処分に係る手続きの欠落に対する見解、道の監査及び行政指導の十分性
- (2) ベビーホテル等に関し、児童福祉法の改正に伴う立入調査の計画、ベビーホテルに係る指導基準と無認可保育所との取扱上の相違に対する考え方、無認可保育所の解消に対する取り組み姿勢、乳児保育に対する考

え方等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があつて民生部所管に対する質疑を終結。

○7月14日（火） 午前10時22分、第1委員会室
において開議、午後4時44分
散会

第1分科委員長

吉野 之雄（社会）

① 衛生部所管に対する質疑に入り、

関根 建二委員（社会）から、

(1) 財団法人歯誠学園の運営に関し、入学時における寄付金徴収の状況、入学を条件とする寄付金の返還に係る道の指導と法人の措置状況、卒業生等に対する寄付金の取扱いと法人側の父兄に対する説明方法の妥当性

(2) 医師確保対策に関し、僻地医療の確保に対する具体的施策、僻地医療確保の進捗状況、医療対策協会の設置目的と本州からの医師の招へいの状況、招へい医師に対する技術研修の内容、協会の事業内容と充実策、医療におけるデータシステム導入に対する見解

保格 博夫委員（社会）から、

(1) 毒物、劇物の取扱いに関し、劇物、毒物の指定を受けた農薬の自然発火事故の状況、農薬の種類及び数量と発火原因、行政指導の十分性

(2) シロアリ駆除剤クロルデンの取扱いに関し、クロルデンの毒性と法的規制、商品の販売実態把握の必要性

(3) ヘアスプレー等の使用に関し、ヘアースプレー等の使用による人体への影響とメカニズムの解明の必要性、今後の取組み姿勢

(4) ノーパン喫茶に関し、施設の現状と営業の実態、食品衛生法上の対策、今後の適切な対処方

(5) サーベイランス体制に関し、事業の内容と風疹の流行に対する対策

藤井 虎雄委員（社会）から、

放射線の人体影響に関し、原発作業従事者の放射線の線量目標値、内部被曝量の測定方法、体外排出方法の有無、放射線の最大許容

線量の意味等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があつて衛生部所管に対する質疑を終結。

② 開発調整部所管に対する質疑に入り、

萩上 元春委員（社会）から、

国鉄ローカル線の廃止に関し、国鉄からの廃止路線選定通知後の対応状況と知事の意見提出の時期、知事意見をまとめるに当たっての基本的考え方、バス転換の場合の通勤・通学者に与える影響、運輸省告示に係る地域開発の適用除外に対する見解、長期展望に立った本道の開発の考慮方について要請する必要性、地元意見の反映のための組織づくりの推進と強力な要請活動の展開に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○7月15日（水） 午前10時26分、第1委員会室
において開議、午後6時32分
散会

第1分科委員長

吉野 之雄（社会）

① 開発調整部所管に対する質疑の続行、

岡本 栄太郎委員（社会）から、

(1) 苫東開発に関し、58年目標計画の達成見通しと修正の必要性、現在まで苫東開発に要した経費、苫東会社の経営内容及び職員の数、苫東基地用地の分譲価格と今後の売却の見通し

(2) 広域生活圏に関し、道民生活指標の受けとめ方と広域生活圏振興計画への活用地域格差是正の方針

(3) 発展計画に関し、第1次・2次産業の現状と計画達成の見通し、今後の推進方策等

小野 秀夫委員（道政）から、

(1) 苫小牧東港の港湾整備と安全確保に関し、民間石油備蓄基地のオイルインの時期と中防波堤の建設との関連、港湾の不完全整備と原油タンカーの入港の妥当性、船舶の安全航行に対する考え方、海員組合の同意の必要、苫東の石油備蓄必要量

(2) 苫東基地計画の生産規模に関し、石油精製、石油化学及び鉄鋼の生産規模と想定の根拠、産業構造審議会の長期ビジョンの受

けとめ方と苫東計画における生産規模達成の見通し等

本間 喜代人委員（共産）から、

- (1) 苫東開発に関し、58年までの段階計画達成見通し、計画の再検討の考え方
- (2) 開発公共事業費に関し、北海道の特例補助分の金額と削減案に対する見解
- (3) 米艦の核持込み疑惑に関し、核積載可能な米艦の小樽港等への入港の状況と核積載について承知の有無、非核三原則に対する道の見解
- (4) 北海道博覧会に関し、補助金支出の予定額と助成を取り止める考え等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁があつて開発調整部所管に対する質疑を終結。

② **生活環境部所管に対する質疑**に入り、

岡本 栄太郎委員（社会）から、

- (1) 環境保全対策に関し、環境庁不要論に対する見解、本道の環境の現状認識、河川の水質汚濁の状況と環境基準達成のための具体策、湖沼における水質改善策
- (2) 釧路湿原の保護に関し、湿原地域内の国有地における湿原保護対策、湿原保護に対する道の取組み姿勢
- (3) 空き缶対策に関し、道の中間報告の概要、市町村との連携、再資源化の検討状況、空き缶対策の今後の取組みと条例制定の考え
- (4) スパイクタイヤの使用に関し、騒音、大気汚染に係る取組み状況
- (5) 特定事業場の水質汚濁防止違反に関し、道の監視体制等の十分性、各支庁の執行体制の強化の必要性
- (6) 現苫地区の主要企業のテレメーターシステムに関し、企業へのテレメーター導入についての指導内容と導入促進の必要性
- (7) 北電の料金値上げ申請に関し、道の受けとめ方と値上げ抑制について指導の考え方

柳谷 正一委員（公明）から、

- (1) 水質汚濁防止に関し、水質汚濁防止法に基づく特定事業所の届出数、有害物質を排出している工場数、法違反に対する行政措置のあり方と監視体制強化の必要性

- (2) 水鳥の保護に関し、函館湾の銃猟禁止区域の設定理由、区域設定に際し漁協の同意の有無、禁止期間、銃猟禁止区域設定と水鳥の増加及び養殖ノリ被害との因果関係、今後調査をする必要性等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があつて生活環境部所管に対する質疑を終結。

○7月16日（木） 午前10時41分、第1委員会室において開議、午後2時18分閉会

第1分科委員長

吉野 之雄（社会）

① **総務部所管に対する質疑**に入り、

鈴木 誠二委員（社会）から、

道の幹部職員の民間への再就職に関し、再就職のあっせんのあり方、業界への再就職あっせん自粛する必要性、勧奨退職制度の運用のあり方等

岡本 栄太郎委員（社会）から、

- (1) 道職員の勤務時間に関し、勤務時間の延長に伴う職員の家庭生活上の影響、4週5休と勤務時間との関係
- (2) 職員の懲戒処分に関し、処分内容の公表に対する見解と今後の取扱い
- (3) 議会对応のあり方に関し、議会開会中における説明員等を最少限度にする必要性
- (4) 北電パイプラインの安全性に関し、室蘭・伊達地震において発電所の地震計が作動しなかった理由、地震計の再点検に対する見解、北電と密接な連携の必要性等

本間 喜代人委員（共産）から、

障害者に係る不適當用語の改正に関し、道条例及び規則中該当用語使用の状況、今後改正の考え方及び早期改正等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び防災消防課長から答弁があつて総務部所管に対する質疑を終結。

② 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

③ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあつた。

第 2 分 科 会

○ 7 月 11 日 (土) 午後 4 時 27 分、第 2 委員会室
において開議、午後 4 時 34 分
散会

第 2 分科委員長

佐藤 静雄 (自民)

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に佐藤
静雄委員 (自民)、分科副委員長に輪島幸雄
委員 (社会) をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑方法等について
協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道
政、公明各 1 名計 4 名の理事を選びその協議
により行うことをはかり、異議なく決定。理
事には中川義雄委員 (自民)、神本三也委員
(社会)、木下一見委員 (道政) 及び伊藤武
一委員 (公明) をそれぞれ選出。
- ④ 分科会委員外委員及び委員外議員の発言の
定することとした。
取扱いについて、その都度分科会にはかり決
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく現在着席の
とおりとすることに決定。

○ 7 月 13 日 (月) 午前 10 時 12 分、第 2 委員会室
において開議、午後 4 時 26 分
散会

第 2 分科委員長

佐藤 静雄 (自民)

- ① 教育委員会所管に対する質疑に入り、
渋谷 澄夫委員 (社会) から、
 - (1) 小規模校における教育に関し、小規模校
の教育の特色と評価、過疎地における廃校
校舎の活用の考え方
 - (2) 障害児学校に関し、高等養護学校の高等部
生徒の就職と進路指導のあり方
 - (3) 教職員の定数改善に関し、3 学級 3 定員
の改善状況と今後の取組み
 - (4) 生徒指導旅費に関し、高校における旅費
増額の必要性
 - (5) 高校入学者選抜に関し、新制高校発足時
の理念と高校三原則に係わる現状認識、本

道の入学者選抜制度の歴史的変遷、大学区
の短所と学校間格差発生の背景及び改善
策、小学区制の短所、学力検査日程短縮に
よる出題内容への影響等

星野 健三委員 (社会) から、

- (1) 公立高校の入学選抜に関し、入選協答申
の受けとめ方と総合選抜制導入の考え方
- (2) 学生野球憲章の運用に関し、美唄工業高
校及び中札内高校の出場辞退の経緯と高野
連の措置の妥当性、運用方針改善要請後の
措置、個人的不祥事による出場辞退に対す
る指導のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。分科副
委員長から、伊藤豪委員 (道政) から質疑通告の取り
下げの申し出があった旨報告の後、引き続き、

中川 隆之委員 (道政) から、

教頭選考試験に関し、試験の内容、被推せ
ん者の資格要件と推せんのある方、今後の選
考試験改善の考え方等について
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があっ
て、教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、本間喜代人第 1 分科委
員 (共産) の本分科会への出席及び土木部所
管に対する発言の申し出について、通告の委
員の質疑終了後これを許可することをはか
り、異議なく決定。

荻上 元春委員 (社会) から、

建設作業員寄宿舎の火災に関し、下請建設
労働者の労働条件と元請業者の責務、建設業
付属寄宿舎の実態把握状況と一斉点検をする
考え、建設業付属寄宿舎規程遵守に係る行政
指導を行う必要性等

小野 秀夫委員 (道政) から、

苫小牧東港の港湾整備に関し、中防波堤の
役割、着工の時期と完成の見通し、受益者負
担に対する取扱い、内防波堤の着工計画と沈
船方式に対する見解、中防波堤整備遅延と船
舶入港の安全性への影響等

本間 喜代人委員 (共産) から、

石狩湾新港計画に関し、木材港区の供用開
始時期の妥当性、小樽港との機能分担に対す
る考え方、木材流通の現状認識と外材依存度
の増加及び木製品の増加を見込む根拠等につ

いて
質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。

③ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第1分科委員の本分科会への出席及び住宅都市部所管に対する発言の申し出について、通告の委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。

湯本 芳志委員（社会）から、

道住宅供給公社の運営に関し、琴似24軒駅プラザビル建設計画の概要、地上権譲渡の手続と譲渡価格、専修学校と併用するビル建設と公社業務の範囲及び公社法の解釈等について

質疑及び意見があって、住宅都市部長から答弁。

○7月14日（火） 午前10時21分、第2委員会室
において開議、午後4時22分
散会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

① 住宅都市部所管に対する質疑の続行、

住宅都市部長から、昨日の湯本 芳志委員（社会）の質疑に対する補足答弁及び答弁の一部訂正の後、

湯本 芳志委員（社会）から、

道住宅供給公社の運営に関し、公社業務の範囲と専修学校併用の住宅を建設することの当否、公社法の解釈に係る建設省の見解等

本間 喜代人委員（共産）から、

小樽運河周辺環境整備等に関し、石造倉庫群の保存計画、復元に要する費用について道が分担する考え、景観に係るアセスメントの有無、臨港線の交通量予測と遮音壁設置に伴う経済活動への影響、臨港線のルートを変更する考え等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

神本 三也委員（社会）から、

土地改良長期計画等に関し、国の長期計画に対する知事の意見の内容と計画への反映の有無、計画における本道枠、水田汎用化・畑

地総合整備の具体的計画内容、道営排水対策特別事業の進捗状況、畑の石れき除去対策、明年度の基盤整備事業に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。

③ 水産部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、川崎 守第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び水産部所管に対する発言の申し出について、通告の委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定。

小田原 要四蔵委員（社会）から、

(1) 国際漁業の秩序維持等に関し、200海里時代における漁業のあり方に対する見解、違反操業防止に係る監視及び行政指導の考え方、貝殻島周辺のコンブ漁業協定交渉の経過、今後の道としての対処策、厚岸沖における油濁被害と原因者の究明、駐道大使からの漁業の国際的問題についての助言内容

(2) 魚道の管理に関し、魚道の管理の状況と点検の必要性等

川崎 守委員（共産）から、

水産物の検査に関し、道水産物検査協会の設立月日、協会の検査を行った場合道の検査を要しないとする条例上の根拠、協会による検査と道営検査との調整に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

○7月15日（水） 午前10時14分、第2委員会室
において開議、午後6時28分
散会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

① 労働部所管に対する質疑に入り、

萩上 元春委員（社会）から、

(1) 建設労働者の寄宿舎の火災に関し、労災保険適用の有無、早期に補償措置することに対する考え、道内における建設業付属寄宿舎の実態把握状況、違反寄宿舎に対する監督・指導のあり方、全道的な実態調査を

行う考え

- (2) パートタイマー等に関し、就労者の状況、パートタイマーを雇用している業種、労働時間と賃金内容、就労の動機、苦情・相談が持ち込まれた事例、パートタイマーの就労実態について調査を行う考え等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。

② 商工観光部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び商工観光部所管に対する発言の申し出について、通告の委員の質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 商工会議所の運営に関し、大型店の進出に関連し、商調協の委員に対する金品の授受の有無、商工会議所の会頭が政治家の後援会の要職に就任することに対する見解及び商工会議所法の解釈
- (2) 電力料金に関し、北電の料金値上げ申請に対する見解、企業活動に対する影響及び企業誘致等への影響、値上げ抑制についての道の対処策、値上げ申請理由と配当確保、原発補償費との関連
- (3) 放射性廃棄物の処理等に関し、低レベル廃棄物のセメント固化による処理方法に対する見解、高レベル廃棄物の貯蔵保管技術の開発の見通し、電発立地による経済的メリット、大学の漁業災害研究グループの調査結果を研究する考え、下川鉱山における岩石透水性試験に放射性物質使用の有無、事実確認の必要性等

藤井 虎雄委員（社会）から、

- (1) 炭価に関し、北電の石炭の購入価格の値上げに対する見解、電力料金の算定と炭価及び北電の料金値上に係る炭価の説明の妥当性
- (2) 原子力発電に関し、原子力発電に係る広報誌の表現の妥当性、共和・泊原発の取排水に塩素使用の有無、原発の安全性に対する道の見解、ウランの埋蔵量と原発建設を推進することの妥当性等

工藤 啓二委員（公明）から、

中小企業大学に関し、中小企業大学の役割、道内での設置希望の状況、建設地点の選定条件と決定までの手順、建設準備委員会の委員人選のあり方、建設地決定の目途等

川崎 守委員（共産）から、

北電の電気料金値上げに関し、前回の値上げ申請時の赤字と当該年度決算が黒字となったことに対する見解、核燃料購入経費、減価償却方法変更の内容、料金値上げ申請の理由と妥当性、供給予備率が高い理由、電力需要の伸び率と今後の見通し等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって商工観光部所管に対する質疑を終結。

○7月16日（木） 午前10時29分、第2委員会室において開議、午後零時52分閉会

第2分科委員長

佐藤 静雄（自民）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

米村 邦敏委員（社会）から、

- (1) 農村の定住化に関し、農家の定住策、後継者の確保と育成策、道産農産物の流通加工面の充実の必要性
- (2) 農地の移転、転売に関し、農地の移転許可に対する基本的な考え方と市町村農業委員会の意見を尊重する必要性、農地の売買価格に対する見解、北見市美山地区における農地法違反事例の内容と経過、同市大正地区における不動産業者の農地取得の経過、農地法に抵触の有無、転作奨励金の取扱い状況、転売の事実関係と今後の行政指導
- (3) 麦作振興に関し、本道の麦作の位置づけ、麦の試験研究の充実
- (4) 酪農家負債対策に関し、酪農家負債の現状、負債整理の具体的対策等について
- 質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

② 林務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、川崎守第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び林務部所管に対する発言の申し出についてはかり、異議なく許可することに決定。

川崎 守委員（共産）から、

あいさつがあった。

洞爺村における保安林の無断伐採に関し、
違反の内容、誤伐と判断とした根拠、行政処
分の内容と妥当性等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があっ
て林務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経
過報告について、分科委員長に一任されたい
旨をはかり、異議なく決定。
- ④ 分科委員長から、分科会における審査終了
のあいさつがあった。

○ 7月16日（木） 午後3時39分、第1委員会室
において開議、午後4時39分
閉会

委員長 山家 勇（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会におけ
る審査の経過について報告。

- ② 知事に対する総括質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

道住宅供給公社の運営に関し、公社の役員
任命に対する考え方、道の公社に対する指導、
監督のあり方、公社の業務内容の妥当性及び
公社法との関連等

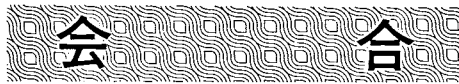
鈴木 誠二委員（社会）から、

道の幹部職員の民間への再就職に関し、道
の指名業者になっている会社への再就職の妥
当性等

本間 喜代人委員（共産）から、

小樽運河周辺整備計画に関し、建造物の保
存に対する具体的計画の策定時期、臨港線の
ルート変更について検討の考え等について
質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、
知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見
調整のため午後4時33分休憩、午後4時37分再開。

- ③ 委員長から、各派代表者会議における付託
案件に対する意見調整の結果について報告の
後、議案第1号を原案可決することについて
はかり、異議なく決定。付託案件に対する審
議経過及び結果の報告については、委員長に
一任することとした。
- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了の



全国都道府県議会議長会

○7月21日（火） 都道府県会館において第77回定例総会を開催。会長（東京都議長）のあいさつに引き続き、内閣総理大臣並びに自治大臣の代理あいさつの後、議事に入り、役員会提出の「行政改革に関する決議」を原案のとおり決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告があり、いずれも原案のとおり決定。ついで、要望事項の実行運動方法について、全議事務総長説明のとおり了承。ついで、役員選任について、役員選考委員会を設置の上、休憩、再開後、役員選考委員長報告のとおり、会長には広島県議長、副会長には北海道、秋田県、茨城県、岐阜県、京都府、岡山県、香川県及び宮崎県議長、理事には宮城県、新潟県、富山県、大阪府、鳥取県、徳島県及び大分県議長、監事には福島県、三重県及び沖縄県議長を選任し、引き続き、各委員会正副委員長を選任決定して、閉会した。

地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の拡充強化について
- 3 地方自治法の改正について
- 4 青少年の健全育成対策について
- 5 同和対策の充実強化について
- 6 北方領土の早期返還について

社会文教委員会関係

- 1 高齢化社会に対応する諸施策の推進について
- 2 障害者施策の拡充強化について
- 3 保育行政の充実強化について
- 4 朝鮮民主主義人民共和国の日本人妻の安否調査及び里帰りの実現について
- 5 富栄養化対策の推進について
- 6 「環境影響評価法」の早期制定について
- 7 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 8 高等教育機関の拡充整備について
- 9 私立学校に対する助成措置の拡充について

て

商工労働委員会関係

- 1 中小企業対策の強化について
- 2 エネルギー資源対策について
- 3 電源立地地域の振興対策について
- 4 休廃止鉱山の鉱害防止対策の強化について

て

- 5 骨材の確保対策について
- 6 雇用対策の推進について

建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 都市公園等の整備促進について
- 5 治水事業等の推進について
- 6 地域振興対策の推進について
- 7 震災対策の推進について
- 8 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化について

て

- 9 国鉄地方交通線対策について
- 10 地方空港の整備促進について
- 11 港湾整備事業の促進について
- 12 海難救助体制の強化について

農林水産委員会関係

- 1 食糧自給力の強化並びに農業基本政策の確立について
- 2 水田利用再編第2期対策について
- 3 果樹、野菜等の振興対策について
- 4 畜産振興対策について
- 5 林業振興対策について
- 6 松くい虫防除対策の拡充強化について
- 7 漁業振興対策について

資 料

第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道税条例の一部を改正する条例	※	3. 31	北海道条例第31号
風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例	※	6. 4	北海道条例第32号
北海道副知事定数特例条例を廃止する条例	6. 26	6. 26	北海道条例第33号
北海道立静和園条例を廃止する条例	同	7. 2	北海道条例第34号
北海道恩給条例等の一部を改正する条例	7. 16	7. 20	北海道条例第35号
北海道行政財産使用料条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第36号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第37号
農村地域の工業導入地区における事業税等の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第38号
過疎地域における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第39号
北海道身体障害者総合更生援護施設条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第40号
北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第41号
北海道農産物検査条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第42号
警察官の職務に協力援助した者の災害給付に関する法律施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第43号

- ※ 1. 条例第31号は3月31日専決処分、7月16日承認議決
 2. 条例第32号は6月4日専決処分、6月26日専決処分報告

議会運営及び各常任・特別委員会委員名簿

(昭和56年7月1日現在)

◎=委員長 ○=副委員長 △=理事

○議会運営委員 (13人)

△小田原要四蔵(社会)(商工労働)	関根 建二(社会)(厚生)	平野 明彦(自民)(文教林務)
高橋 康之(自民)(商工労働)	△工藤 啓二(公明)(農務)	△和田 勝之(自民)(建設)
△木下 一見(道政)(農地開発)	△岩崎 守男(社会)(総務)	◎水沼徳一郎(自民)(厚生)
△水岡 薫(自民)(建設)	○渋谷 澄夫(社会)(農務)	<オブザーバー>
吉川 貴盛(自民)(文教林務)	中崎 昭一(自民)(総務)	本間喜代人(共産)(文教林務)

○総務委員 (14人)

○樫林 巖(社会)
木本 由孝(自民)
△橋 浪蔵(道政)
中川 義雄(自民)
◎青山 正男(自民)
△岩崎 守男(社会)
△中崎 昭一(自民)
宇野 真平(自民)
保格 博夫(社会)
△高橋 鉦(公明)
山家 勇(社会)
藤井 猛(自民)
高橋 賢一(自民)
欠員1人

○厚生委員 (13人)

△伊藤 弘(自民)
△関根 建二(社会)
○伊藤 武一(公明)
川崎 守(共産)
◎石山 直行(自民)
高木 繁光(自民)
寺崎 政朝(自民)
△高田 忠雄(道政)
小沢 栄吉(自民)
舟山 広治(社会)
湯本 芳志(社会)
水沼徳一郎(自民)
東 典俊(自民)

○商工労働委員 (13人)

小田原要四蔵(社会)
△高橋 康之(自民)
久田 恭弘(自民)
△柳谷 正一(公明)
△輪島 幸雄(社会)
浅川 正敏(自民)
○岩田 徳弥(自民)
△湯田 倉治(道政)
◎藤井 虎雄(社会)
塚本 肇(社会)
吉田 政一(自民)
三上 勇(自民)
佐藤 幹夫(自民)

○農務委員 (13人)

△神本 三也(社会)
青山 章(自民)
○吉野 之雄(社会)
△工藤 啓二(公明)
岡本栄太郎(社会)
渋谷 澄夫(社会)
宇川 源吉(自民)
△川口 常人(自民)
△石川十四夫(道政)
村上 肇明(自民)
◎若狭 靖(自民)
高橋正四郎(自民)
田莉子政太郎(自民)

○建設委員 (13人)

△浅野 俊一(公明)
△勝木 省三(道政)
○中川 隆之(道政)
水岡 薫(自民)
△萩上 元春(社会)
△野村 權作(自民)
古川 靖晃(自民)
和田 勝之(自民)
◎笹浪 幸男(自民)
鈴木 誠二(社会)
星野 健三(社会)
西尾 六七(自民)
杉本 栄一(自民)

○農地開発委員 (13人)

△佐々木行雄(自民)
△木下 一見(道政)
土屋 良三(自民)
△青木 延男(社会)
○佐藤 静雄(自民)
◎伊藤 豪(道政)
米田 忠雄(自民)
大平 秀雄(自民)
池島 信吉(社会)
影山 豊(無所属)
笠島 保(社会)
作田 政次(自民)
松浦 義信(自民)

○水産委員 (13人)

○桜井 外治(自民)
△小田部善治(道政)
△松本 勇(自民)
△長岡 寅雄(社会)
石崎喜太郎(自民)
◎新沼 浩(自民)
武部 勤(自民)
砂原 清治(社会)
原 清重(社会)
阿部恵三男(自民)
滝沢 勉(自民)
佐々木 豊(自民)
欠員1人

○文教林務委員 (13人)

山口 真人(自民)
△吉川 貴盛(自民)
△米村 邦敏(社会)
○佐々木利昭(自民)
△小野 秀夫(道政)
平野 明彦(自民)
小笠原 孝(自民)
工藤万砂美(自民)
吉田 英治(社会)
熊谷 克治(社会)
◎中田 繁夫(社会)
本間喜代人(共産)
宮本 義勝(自民)

○総合開発調査特別委員 (27人)

△榎林 巖 (社会) (総務)	小野 秀夫 (道政) (文教林務)
△神本 三也 (社会) (農務)	△古川 靖晃 (自民) (建設)
△木本 由孝 (自民) (総務)	小笠原 孝 (自民) (文教林務)
高橋 康之 (自民) (商工労働)	武部 勤 (自民) (水産)
△小田部善治 (道政) (水産)	鈴木 誠二 (社会) (建設)
中川 隆之 (道政) (建設)	吉田 英治 (社会) (文教林務)
松本 勇 (自民) (水産)	熊谷 克治 (社会) (文教林務)
吉川 貴盛 (自民) (文教林務)	△高橋 鉦 (公明) (総務)
○萩上 元春 (社会) (建設)	●吉田 政一 (自民) (商工労働)
川崎 守 (共産) (厚生)	東 典俊 (自民) (厚生)
渋谷 澄夫 (社会) (農務)	阿部恵三男 (自民) (水産)
岩田 徳弥 (自民) (商工労働)	佐藤 幹夫 (自民) (商工労働)
川口 常人 (自民) (農務)	
寺崎 政朝 (自民) (厚生)	
中崎 昭一 (自民) (総務)	

○石炭対策特別委員 (15人)

佐々木行雄 (自民) (農地開発)
△土屋 良三 (自民) (農地開発)
△中川 義雄 (自民) (総務)
○長岡 寅雄 (社会) (水産)
△伊藤 武一 (公明) (厚生)
△岩崎 守男 (社会) (総務)
石山 直行 (自民) (厚生)
宇川 源吉 (自民) (農務)
石川十四夫 (道政) (農務)
△湯田 倉治 (道政) (商工労働)
工藤万砂美 (自民) (文教林務)
△藤井 虎雄 (社会) (商工労働)
山家 勇 (社会) (総務)
藤井 猛 (自民) (総務)
高橋正四郎 (自民) (農務)

○北方領土対策特別委員 (13人)

△小田原要四蔵 (社会) (商工労働)
△青山 章 (自民) (農務)
桜井 外治 (自民) (水産)
水岡 薫 (自民) (建設)
工藤 啓二 (公明) (農務)
○米村 邦敏 (社会) (文教林務)
佐々木利昭 (自民) (文教林務)
△高田 忠雄 (道政) (厚生)
野村 権作 (自民) (建設)
●小沢 栄吉 (自民) (厚生)
湯本 芳志 (社会) (厚生)
原 清重 (社会) (水産)
水沼徳一郎 (自民) (厚生)

○公害対策特別委員 (17人)

伊藤 弘 (自民) (厚生)
△勝木 省三 (道政) (建設)
橋 浪蔵 (道政) (総務)
久田 恭弘 (自民) (商工労働)
△山口 眞人 (自民) (文教林務)
青山 正男 (自民) (総務)
△関根 建二 (社会) (厚生)
△吉野 之雄 (社会) (農務)
△柳谷 正一 (公明) (商工労働)
○輪島 幸雄 (社会) (商工労働)
岡本栄太郎 (社会) (農務)
△佐藤 静雄 (自民) (農地開発)
●高木 繁光 (自民) (厚生)
新沼 浩 (自民) (水産)
星野 健三 (社会) (建設)
若狭 靖 (自民) (農務)
田 莉子政太郎 (自民) (農務)

7 月 の メ モ

- 2日 ○浜中町霧多布中学校で校内集団暴力が深刻化し4日間臨時休校。
- 7日 ○渡辺蔵相は59年秋をメドに新券を発行すると発表。改められるのは1万円札（福沢諭吉）、5千円札（新渡戸稲造）、千円札（夏目漱石）の3種。
- 10日 ○第2臨調は57年度の「増税なき予算」編成を柱とした第1次答申（中間報告）をまとめ、鈴木首相に提出。
○大村防衛庁長官が閣議で、米側との一連の防衛協議の概要報告。これをもとに対米協調路線を改めて確認。
- 13日 ○亀岡農水相は56年産米の生産者米価の据え置きを米価審議会に諮問、審議が一時中断したが、15日事実上の据え置き答申。基本米価を0.5%政治加算することで決着。（17日）
○北電は電灯・電力平均で20.18%の値上げ認可を通産省に申請。
- 16日 ○レーガン米大統領は核兵器の拡散防止を安全保障、外交の基本政策に据えることをうたった7項目の指針を発表。
- 17日 ○政府・自民党は閣議、行革推進本部総会で臨調の第1次答申を「最大限に尊重し、速やかに実施に移す」と基本方針を決定。
○郵政省は「株式会社エフエム北海道」に予備免許を与えた。民間FM局としては本道初。
○道教委は57年度から公立高校入試制度を、教育庁の改革案通り変更することを正式に決定。総合選抜制導入は見送り。
- 19日 ○大相撲名古屋場所で、大関千代の富士が優勝。第58代横綱に（22日）
- 20日 ○第7回先進国首脳会議（オタワ・サミット）が開かれ、議長役のトルドー・カナダ首相がソ連の軍事力増強を懸念し、東西の軍事均衡の必要性を訴えた「議長総括」を発表。また、連帯の強化による西側経済の再活性化や政経不可分の認識などを改めて確認した「オタワ宣言」を採択して閉幕。（21日）
- 21日 ○国際捕鯨委は米英など提案の商業捕鯨全面禁止案を否決。
- 23日 ○農水省道統計情報事務所発表の道内水稻作柄状況（15日現在）によると、作況は「不良」、この時点での「不良」は冷害に見舞われた44年以来。
- 26日 ○厚生省が「55年簡易生命表」を発表。平均寿命は男73.32歳、女78.83歳と24年ぶりに低下。
○自治省が3月31日現在の全国人口・世帯数、人口動態を発表。全国人口1億1千7百万9千2人は前年比0.7%の増加。
○イランの大統領選挙でラジャイ首相が当選。
- 28日 ○臨調の第1次答申に基づく行革を推進するため鈴木首相は全閣僚との個別会談に入る。
- 29日 ○イランのパニサドル前大統領がフランスに亡命。
○英国のチャールズ皇太子御成婚。
- 30日 ○政府・自民首脳会議で鈴木首相は①「戦没者追悼の日」制定については実現の方向で取り組む②靖国神社公式参拝は福田内閣以来の行わない方針を踏襲するとの考えを示し、党側も了承。
- 31日 ○部分日食が本道ははじめ全国各地で観測される。